

令和 4年度 国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市和坂3丁目 地内

工 種

契約数量表

頁0-0001/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費					
管路					
管きよ工	(管径700mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		104	
機械掘削工		m3		235	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込碎石	m3		140	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m3		3	
残土処分工(土砂)		m3		235	
管布設工					
鉄筋コンクリート管		式		1	
鉄筋コンクリート管布設工	B形 1種, 径 700mm	m		77.6	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工(機械投入)		m3		66	

契約数量表

頁0-0002/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		1.5	
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)		m		1.5	
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		78.5	
引抜工		m		78.5	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.5m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.5m					
管きよ工	(管径500mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		25	
機械掘削工		m3		44	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		26	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		0.7	
残土処分工 (土砂)		m3		44	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管布設工	径 500mm	m		23.9	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工 (機械投入)		m3		12	
管路土留工					
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		25	
引抜工		m		25	
鋼材賃料		式		1	
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m					

契約数量表

頁0-0004/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		1	
削孔代 0号, 1号 組立式(V型)	φ 500mm用	箇所		1	
削孔代 0号, 1号 組立式(V型)	φ 150mm用	箇所		1	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ 600		個		1	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
調整リング 組立式(V型)	600×80mm	個		1	
調整リング 組立式(V型)	600×50mm	個		1	
転落防止はしご		台		1	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		1	
1号底付	900×900mm	個		1	
底部工 [組立式]		箇所		1	
可とう継手 VU φ 500 (拡張型)	塩ビ管用	個		2	
可とう継手 VU φ 150 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	
組立2号マンホール	合流	式		1	
組立マンホール設置工	2号 マンホール深さ4m以下	箇所		1	

契約数量表

頁0-0005/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
流入管用削孔 (HP管) φ 700	2号人孔用	箇所		1	
流入管用削孔 (HP管) φ 600	2号人孔用	箇所		1	
流入管用削孔 (塩ビ管) φ 200	2号人孔用	箇所		1	
流入管用削孔 (塩ビ管) φ 250	2号人孔用	箇所		1	
流入管用削孔 (塩ビ管) φ 300	2号人孔用	箇所		1	
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ 600		個		1	
蓋取付ボルト 350mm (3ヶ1組)	調整ブロック250mm用	セット		1	
調整リグ 組立式(U型)	600×150mm	個		1	
調整リグ 組立式(U型)	600×100mm	個		1	
転落防止はしご	φ 600用	組		1	
2号斜壁 組立式(U型)	600×1200×450mm	個		1	
2号直壁 組立式(U型)	1200×1500mm	個		1	
2号底版 組立式(U型)	有効高さ150mm	個		1	
底部工 [組立式]		箇所		1	
防護コンクリート工	HP φ 600	箇所		2	
可とう継手 HP φ 700 (拡張型)	HP管用	個		1	
可とう継手 VU φ 200 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	
可とう継手 VU φ 250 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	

契約数量表

頁0-0006/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
可とう継手 VU φ300 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	
組立2号マンホール	雨水	式		1	
組立マンホール設置工	2号 マンホール深さ4m以下	箇所		2	
流入管用削孔 (HP管) φ700	2号人孔用	箇所		1	
削孔代 2号 組立式(V型)	φ500mm用	箇所		1	
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600		個		1	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600		個		1	
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組)	調整ブロック200mm用	セット		1	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
調整リグ 組立式(V型)	600×100mm	個		1	
調整リグ 組立式(V型)	600×80mm	個		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×50mm	個		1	
転落防止はしご	φ600用	組		2	
2号斜壁 組立式(V型)	600×1200×600mm	個		1	
2号床版斜壁 組立式(V型)	600×1440×200	個		1	
2号底付	1200×1300mm	個		1	
2号底付	1200×1600mm	個		1	
底部工 [組立式]		箇所		2	

契約数量表

頁0-0007/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
可とう継手 HPφ700 (拡張型)	HP管用	個		3	
可とう継手 VUφ500 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		7	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		6	
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		3	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		0.2	
残土処分工 (土砂)		m3		6	
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)		式		1	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, コンクリート製・陶製	箇所		6	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		3	
塩ビ・仮止めキャップ (差口用)	φ150	個		9	
付帯工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		2	
表層(歩道部)	t = 3 0 mm	m2		134	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		233	
舗装復旧工					
上層路盤		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		2	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A					
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 A					

契約数量表

頁0-0009/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
管路					
管きよ工	(管径300mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		49	
機械掘削工		m3		80	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込碎石	m3		54	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		1	
残土処分工 (土砂)		m3		80	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 300mm	m		53	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工 (機械投入)		m3		21	

契約数量表

頁0-0010/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		5	
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)		m		5	
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		50	
引抜工		m		50	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)					
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m					
管きよ工	(管径250mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		20	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3		26	

契約数量表

頁0-0011/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		16	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		1	
残土処分工 (土砂)		m3		26	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 250mm	m		34.1	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工 (機械投入)		m3		7	
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		3	
削孔代 0号, 1号 組立式 (V型)	φ 300mm用	箇所		1	
削孔代 0号, 1号 組立式 (V型)	φ 250mm用	箇所		1	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ 600		個		3	

契約数量表

頁0-0012/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組)	調整ブロック200mm用	セット		2	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
調整リグ 組立式(V型)	600×150mm	個		1	
調整リグ 組立式(V型)	600×50mm	個		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×80mm	個		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×100mm	個		1	
転落防止はしご		台		3	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		2	
1号中床版ブロック	150×600×900mm	個		1	
1号底付	900×700mm	個		3	
底部工 [組立式]		箇所		3	
可とう継手 VU φ300 (拡張型)	塩ビ管用	個		3	
可とう継手 VU φ250 (拡張型)	塩ビ管用	個		2	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		1	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		1	

契約数量表

頁0-0013/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		0.5	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		0.03	
残土処分工 (土砂)		m3		1	
取付管布設工					
取付管 (塩ビ管)		式		1	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		1	
塩ビ・仮止めキャップ (差口用)	φ 150	個		1	
付帯工					
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層 (車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		11	
表層 (歩道部)	t = 3 0 mm	m2		59	
基層 (車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		8	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		183	

契約数量表

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装復旧工					
上層路盤		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		11	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A					
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 A					

契約数量表

頁0-0015/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
附帯工事費(2)					
管路					
管きよ工	(管径250mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		74	
機械掘削工		m3		143	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		18	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		107	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		2	
残土処分工 (土砂)		m3		143	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)		m3		18	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 250mm	m		80.1	
埋設標識		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管明示テープ	幅50mm, 塩化ビニル製	m		80.1	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工(機械投入)		m ³		30	
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		3	
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)		m		3	
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		30	
建込工		m		50	
引抜工		m		30	
引抜工		m		50	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ矢板整備費(基本料)					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.5m					
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.5m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m					
管きよ工	(管径200mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		66	
機械掘削工		m3		45	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3		47	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		14	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		33	
埋戻し		m3		30	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		2	
残土処分工 (土砂)		m3		45	
残土処分工 (土砂)		m3		47	

契約数量表

頁0-0018/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
残塊処分工(鉄筋コンクリート)		m3		14	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 200mm	m		92.8	
埋設標識テープ		式		1	
管明示テープ	幅50mm, 塩化ビニル製	m		92.8	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工 (機械投入)		m3		24	
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工 (両側分)		m		5	
土留支保工		式		1	
土留支保工 (設置+撤去)		m		5	
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		25	
引抜工		m		25	
鋼材賃料		式		1	

契約数量表

頁0-0019/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
アルミ矢板賃料					
アルミ矢板整備費 (基本料)					
アルミ製支保工賃料 (軽量鋼矢板2.0m用)					
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m					
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m					
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		6	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ 250mm用	箇所		2	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ 300mm用	箇所		1	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ 200mm用	箇所		3	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ 150mm用	箇所		2	
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ 600		個		3	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ 600		個		3	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		4	
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組)	調整ブロック100mm用	セット		1	
蓋取付ボルト 350mm (3ヶ1組)	調整ブロック250mm用	セット		1	

契約数量表

頁0-0020/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
調整リグ 組立式(V型)	600×80mm	個		4	
調整リグ 組立式(V型)	600×50mm	個		6	
調整リグ 組立式(V型)	600×100mm	個		1	
調整リグ 組立式(V型)	600×150mm	個		1	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		4	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×300mm	個		1	
1号中床版ブロック	150×600×900mm	個		1	
1号直壁 組立式(V型)	900×300mm	個		2	
1号底付	900×900mm	個		3	
1号底付	900×700mm	個		3	
底部工 [組立式]		箇所		6	
可とう継手 VU φ250 (拡張型)	塩ビ管用	個		5	
防護コンクリート工	HP φ300	箇所		1	
可とう継手 VU φ200 (拡張型)	塩ビ管用	個		6	
可とう継手 VU φ150 (拡張型)	塩ビ管用	個		2	
小型マンホール工					
小型マンホール		式		1	
小型マンホール設置工	起点落差形式(KDR), 鋳鉄製防護蓋 設置なし	箇所		1	

契約数量表

頁0-0021/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
小型 底版 H=100 φ400用		個		1	
小型 歩道用マンホール蓋・枠 T-14 φ400		個		1	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		1	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		2	
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		1	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		0.01	
残土処分工 (土砂)		m3		2	
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)		式		1	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		10	
塩ビ・仮止めキャップ(差口用)	φ150	個		8	
付帯工					
舗装仮復旧工					

契約数量表

頁0-0022/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm : 7.2+8.4=15.6	m2		15	
表層(歩道部)	t = 30mm : 135.8+21.6=157.4	m2		157	
基層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		8	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		510	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		48	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		1	
舗装復旧工					
上層路盤		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40 : 7.2+8.4=15.6	m2		15	
不陸整正		式		1	
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		33	
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		15	
表層		式		1	

契約数量表

頁0-0023/0024

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
表層(車道・路肩部)	t = 30mm	m ²		33	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m ²		15	
既設構造物撤去工					
撤去掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)	3.6+18.0+8.4=30.0	m ²		30	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満: 4.4+18.3	m ³		22	
撤去埋戻		式		1	
埋戻し	4.4+17.4+3.76=25.56	m ³		25	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)	0.1+1.3=1.4	m ³		1	
残土処分工(土砂)		m ³		22	
既設管撤去		式		1	
鉄筋コンクリート管撤去工	HPφ300	m		5.7	
鉄筋コンクリート管撤去工	HPφ250	m		42.8	
既設人孔撤去		式		1	
プレキャストマンホール	撤去 W=2000kg/基以下	基		2	
コンクリート塊運搬処理		式		1	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)		m ³		3	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
撤去付帯工		式		1	
閉塞工	HP φ 300	箇所		1	
閉塞工	HP φ 250	箇所		1	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 A					
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 A					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の積込み・取卸し					
仮設材等の運搬					
仮設材等の運搬					
試掘調査工		式		1	
試掘調査工					
土質等試験費		式		1	
埋戻し土 (流用土) 判定					

数量計算総括表

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事(雨水：本体)

明石市下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事 (雨水：本体)	
施工場所	明石市和坂3丁目地内	
発注者	明石市下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

雨水:本管:HP φ 700B						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				船合_5076	雨2013	雨2013
" 接続番号				合No. 1	合No. 1+1.50	雨No. 1
上流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2013
" 接続番号				合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2
■開削工						
区間延長		m	80.00	1.50	38.50	40.00
平均掘削深		m		2.290	2.326	2.264
掘削幅		m		1.35	1.30	1.30
■管布設工						
管布設延長		m	77.60	0.90	37.90	38.80
管体延長		m	77.60	0.90	37.90	38.80
全管本数		本	32	0	16	16
半管本数		本	1	1	0	0
■管基礎工						
基礎数量	機械投入: HP φ 700B: 水砕スク ³ 360	m3	66.0	1.48	37.87	26.71
■その他管渠布設工						
■土工						
■舗装掘削工						
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	2.0	2.03		
	AS: 0.03	m2	102.0		50.05	52.00
ガラ処分	AS: 処分	m3	3.1	0.10	1.50	1.56
■掘削工						
全掘削土量		m3	235.6	4.54	115.12	115.96
土留掘削土量	土留	m3	235.6	4.54	115.12	115.96
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	4.5	4.54		
■埋戻し工						
BC区分埋戻し量	土留: 碎石: 購入	m3	140.0	2.48	69.07	68.54
埋戻し量合計	土留: 碎石: 購入	m3	140.0	2.48	69.07	68.54
■残土処分工						
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	235.6	4.54	115.12	115.96
■その他土工						
■土留工						
■矢板打込み工						
■矢板建込み工						
土留延長	アルミ: 2.5: 100	m	1.50	1.50		

開削工数量総括表

雨水:本管:HP φ 700B						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				船合_5076	雨2013	雨2013
〃 接続番号				合No. 1	合No. 1+1.50	雨No. 1
上流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2013
〃 接続番号				合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2
■ハ° 補建込み工						
土留延長	2.5: 1.3	m	78.50		38.50	40.00
■素掘						
素掘延長		m	0.00	0.00	0.00	0.00
■支保工設置						
土留延長	7W3: 2.5: 2段: 軽金属120×75	m	1.50	1.50		
建込支保工設置撤去	2段	m	1.50	1.50		
■その他開削工						

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:VUφ500				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2013
" 接続番号				雨No. 2
上流側路線番号				雨2009
" 接続番号				雨No. 3
■開削工				
区間延長		m	25.00	25.00
平均掘削深		m		1.798
掘削幅		m		1.00
■管布設工				
管布設延長		m	23.95	23.95
管体延長		m	23.95	23.95
管本数		本	5.9	5.99
下流人孔継手		本	0	0
上流人孔継手		本	0	0
副管用継手		本	0	0
■管基礎工				
基礎数量	機械投入: VUφ500: 水砕スラグ ³⁶⁰	m ³	12.7	12.70
■その他管渠布設工				
■土工				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m ²	25.0	25.00
ガラ処分	AS: 処分	m ³	0.7	0.75
■掘削工				
全掘削土量		m ³	44.2	44.25
土留掘削土量	土留	m ³	44.2	44.25
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	土留: 砕石: 購入	m ³	26.2	26.20
埋戻し量合計	土留: 砕石: 購入	m ³	26.2	26.20
■残土処分工				
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m ³	44.2	44.25
■その他土工				
■土留工				
■矢板打込み工				
■矢板建込み工				
■バ^レ建込み工				
土留延長	2: 1	m	25.00	25.00

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:VUφ500				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2013
" 接続番号				雨No.2
上流側路線番号				雨2009
" 接続番号				雨No.3
■素掘				
素掘延長		m	0.00	0.00
■支保工設置				
■その他開削工				

組立人孔築造工

合流:U型2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				船合_5076
接続番号				合No. 1
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		2.158
人孔設置工	5m以下	箇所	1	1
削孔工	HP φ 700B	箇所	1	1
	VU φ 200	箇所	1	1
	VU φ 250	箇所	1	1
	VU φ 300	箇所	1	1
■上部工				
蓋設置工	耐スリップ 型T14	箇所	1	1
調整工		箇所	1	1
蓋取付ボルト	調整250mm超用	組	1	1
調整リング	H150	組	1	1
	H100	組	1	1
セイフティラダー		箇所	1	1
■ブロック				
斜壁ブロック	H450	組	1	1
躯体ブロック (底付等)	H1500	組	1	1
底板ブロック		組	1	1
■底部工				
インハート		箇所	1	1
砕石	砕石	箇所	1	1
■管補強工				
管補強工	防護コンクリート: HP φ 600B	箇所	2	2
	ジョイントブーツ: HP φ 700B	箇所	1	1
	ジョイントブーツ: VU φ 200	箇所	1	1
	ジョイントブーツ: VU φ 250	箇所	1	1
	ジョイントブーツ: VU φ 300	箇所	1	1
■その他				
削孔工	HP φ 600	箇所	1	1

組立人孔築造工 (2)

雨水:V型2号					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
路線番号				雨2013	雨2013
接続番号				雨No. 1	雨No. 2
■組立人孔築造工					
■人孔設置工					
人孔深		m		2.100	1.932
人孔設置工	5m以下	箇所	2	1	1
削孔工	HP φ 700B	箇所	1	1	
	VU φ 500	箇所	1		1
■上部工					
蓋設置工	耐スリップ 型T14	箇所	1		1
	T14	箇所	1	1	
調整工		箇所	2	1	1
蓋取付ボルト	調整200mm超用	組	1	1	
	調整150mm用	組	1		1
調整リング	H100	組	1	1	
	H80	組	2	1	1
	H50	組	1		1
セーフティラダー		箇所	2	1	1
■ブロック					
斜壁ブロック	H600	組	1	1	
	H200床版	組	1		1
躯体ブロック (底付等)	H1300	組	1	1	
	H1600	組	1		1
■底部工					
インパート		箇所	2	1	1
砕石	砕石	箇所	2	1	1
■管補強工					
管補強工	ジョイントブーツ: HP φ 700B	箇所	3	2	1
	ジョイントブーツ: VU φ 500	箇所	1		1
■その他					

組立人孔築造工 (3)

雨水:V型1号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				雨2009
接続番号				雨No. 3
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		1.644
人孔設置工	3m以下	箇所	1	1
削孔工	VUφ500	箇所	1	1
	VUφ150	箇所	1	1
■上部工				
蓋設置工	T14	箇所	1	1
調整工		箇所	1	1
蓋取付ボルト	調整150mm用	組	1	1
調整リング	H80	組	1	1
	H50	組	1	1
セフティーラダー		箇所	1	1
■ブロック				
斜壁ブロック	H600	組	1	1
躯体ブロック (底付等)	H900	組	1	1
■底部工				
インパート		箇所	1	1
砕石	砕石	箇所	1	1
■管補強工				
管補強工	ジョイントブーツ: VUφ500	箇所	2	2
	ジョイントブーツ: VUφ150	箇所	1	1
■その他				

柵設置工

雨水						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2013
〃 接続番号				合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2
上流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2009
〃 接続番号				雨No. 1	雨No. 2	雨No. 3
■柵設置工						
■取付管工						
管布設延長	VU φ 150: 2.0m未満	m	14.06	3.68	6.36	4.02
直管	VU φ 150	本	4.4	1.23	2.16	1.02
曲管	HP φ 700B: VU φ 150: 45°	本	6	2	4	
	VU φ 500: VU φ 150: 45°	本	3			3
カテー	VU φ 150	個	0	0	0	0
キャップ	VU φ 150	個	9	2	4	3
■取付管基礎工						
基礎数量	VU φ 150: 水砕スラック 360	m3	2.3	0.64	1.08	0.66
■取付管土工等						
■舗装掘削工						
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m2	5.6	1.92	2.43	1.32
	AS: 0.05	m2	1.4		0.81	0.66
ガラ処分	AS: 処分	m3	0.2	0.05	0.10	0.07
■土工掘削工						
掘削土量	砂・砂質土	m3	6.2	1.68	2.82	1.70
■埋戻し工						
BC区分埋戻し量	砕石: 購入	m3	3.6	0.97	1.64	0.99
埋戻し量合計	砕石: 購入	m3	3.6	0.97	1.64	0.99
■残土処分工						
処分	砂・砂質土: 処分	m3	6.2	1.68	2.82	1.70
■その他						

柵設置工確認

雨水						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2013
" 接続番号				合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2
上流側路線番号				雨2013	雨2013	雨2009
" 接続番号				雨No. 1	雨No. 2	雨No. 3
■ 柵設置確認						
管布設延長	NO. 柵 1	m	2.50	2.50		
	NO. 柵 2	m	2.00	2.00		
	NO. 柵 3	m	2.00		2.00	
	NO. 柵 4	m	2.00		2.00	
	NO. 柵 5	m	2.00		2.00	
	NO. 柵 6	m	2.00		2.00	
	NO. 柵 7	m	1.60			1.60
	NO. 柵 8	m	1.60			1.60
	NO. 柵 9	m	1.60			1.60
■ 取付管延長別箇所数						
箇所数	3m未満	箇所	9	2	4	3

区間部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	数量			
				船合_5076	雨2013	雨2013	雨2013
下流側路線番号				合No. 1	合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2
〃 接続番号				雨2013	雨2013	雨2013	雨2009
上流側路線番号				合No. 1+1.50	雨No. 1	雨No. 2	雨No. 3
〃 接続番号							
■ 区間部付帯工							
■ 舗装切断							
本管部（全体部で集計）	AS: 0.05	m	3.0				
	AS: 0.03	m	207.0				
取付管部（全体部で集計）	AS: 0.05	m	4.9				
	AS: 0.03	m	18.9				
■ 仮復旧工							
■ 本管部舗装仮復旧工							
舗装仮復旧	AS: 0.05	m2	2.0	2.03			
	AS: 0.03	m2	127.0		50.05	52.00	25.00
路盤（全体部で集計）	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	2.0	2.03			
■ 取付管部舗装仮復旧工							
舗装仮復旧	AS: 0.03	m2	7.1		1.92	3.24	1.98
■ 合計							
舗装仮復旧	AS: 0.05	m2	2.0	2.03			
	AS: 0.03	m2	134.1		51.97	55.24	26.98
路盤（全体部で集計）	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	2.0	2.03			
■ 柵取付管補強工							
■ その他本管部付帯工							
■ その他柵付帯工							

数量計算総括表

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事(雨水：附帯)

明石市下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事 (雨水：附帯)	
施工場所	明石市和坂3丁目地内	
発注者	明石市下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

雨水:本管:VUφ300								
名称	集計単位	単位	合計数量	数量				
下流側路線番号				船合_5076	雨2015	雨2015	雨2015	雨2015
〃 接続番号				合No. 1	合No. 1+3.00	雨No. 6	雨 No. 6+19.00	雨 No. 6+21.00
上流側路線番号				雨2015	雨2015	雨2015	雨2015	雨2015
〃 接続番号				合No. 1+3.00	雨No. 6	雨 No. 6+19.00	雨 No. 6+21.00	雨No. 7
■開削工								
区間延長		m	55.00	3.00	27.00	19.00	2.00	4.00
平均掘削深		m		1.791	1.701	1.586	1.548	1.543
掘削幅		m		0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
■管布設工								
管布設延長		m	53.05	2.40	26.55	18.55	2.00	3.55
管体延長		m	53.05	2.40	26.55	18.55	2.00	3.55
管本数		本	13.2	0.60	6.64	4.64	0.50	0.89
下流入孔継手		本	0	0	0	0	0	0
上流入孔継手		本	0	0	0	0	0	0
副管用継手		本	0	0	0	0	0	0
■管基礎工								
基礎数量	機械投入: VUφ300: 水砕スラグ360	m3	21.2	1.16	10.45	7.36	0.77	1.55
■その他管渠布設工								
■土工								
■舗装掘削工								
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	2.7	2.70				
	AS: 0.03	m2	46.8		24.30	17.10	1.80	3.60
ガラ処分	AS: 処分	m3	1.5	0.14	0.73	0.51	0.05	0.11
■掘削工								
全掘削土量		m3	80.1	4.69	40.58	26.68	2.74	5.43
土留掘削土量	土留	m3	80.1	4.69	40.58	26.68	2.74	5.43
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	7.4	4.69			2.74	
■埋戻し工								
BC区分埋戻し量	土留: 碎石: 購入	m3	54.1	3.03	28.02	17.75	1.80	3.58
埋戻し量合計	土留: 碎石: 購入	m3	54.1	3.03	28.02	17.75	1.80	3.58
■残土処分工								
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	80.1	4.69	40.58	26.68	2.74	5.43
■その他土工								
■土留工								
■矢板打込み工								

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:VUφ250				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2015
" 接続番号				雨No.7
上流側路線番号				雨2014
" 接続番号				雨No.8
■開削工				
区間延長		m	35.00	35.00
平均掘削深		m		1.331
掘削幅		m		0.60
■管布設工				
管布設延長		m	34.10	34.10
管体延長		m	34.10	34.10
管本数		本	8.5	8.53
下流人孔継手		本	0	0
上流人孔継手		本	0	0
副管用継手		本	0	0
■管基礎工				
基礎数量	機械投入: VUφ250: 水砕スラグ360	m3	7.8	7.85
■その他管渠布設工				
■土工				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m2	12.6	12.60
	AS: 0.1	m2	8.4	8.40
ガラ処分	AS: 処分	m3	1.2	1.22
■掘削工				
全掘削土量		m3	26.7	26.71
土留掘削土量	素掘	m3	26.7	26.71
掘削土量	素掘: 砂・砂質土	m3	26.7	26.71
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	素掘: 碎石: 購入	m3	16.0	16.08
埋戻し量合計	素掘: 碎石: 購入	m3	16.0	16.08
■残土処分工				
処分量	素掘: 砂・砂質土: 処分	m3	26.7	26.71
■その他土工				
■土留工				
■矢板打込み工				
■矢板建込み工				

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:VUφ250				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2015
＃ 接続番号				雨No.7
上流側路線番号				雨2014
＃ 接続番号				雨No.8
■ハ 補建込み工				
■素掘				
素掘延長		m	35.00	35.00
■支保工設置				
■その他開削工				

組立人孔築造工

合流:U型2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				船合_5076
接続番号				合No. 1
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		2.158
■上部工				
■ブロック				
■底部工				
■管補強工				
■その他				

組立人孔築造工 (2)

雨水:V型1号						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
路線番号				雨2015	雨2015	雨2014
接続番号				雨No.6	雨No.7	雨No.8
■組立人孔築造工						
■人孔設置工						
人孔深		m		1.529	1.434	1.059
人孔設置工	3m以下	箇所	3	1	1	1
削孔工	VUφ300	箇所	1	1		
	VUφ250	箇所	1		1	
■上部工						
蓋設置工	T14	箇所	3	1	1	1
調整工		箇所	3	1	1	1
蓋取付ボルト	調整200mm超用	組	2	1		1
	調整150mm用	組	1		1	
調整リング	H150	組	1	1		
	H50	組	2	1	1	
	H80	組	2		1	1
	H100	組	1			1
セーフティラダー		箇所	3	1	1	1
■ブロック						
斜壁ブロック	H600	組	2	1	1	
	H150床版	組	1			1
躯体ブロック (底付等)	H700	組	3	1	1	1
■底部工						
インハート		箇所	3	1	1	1
碎石	碎石	箇所	3	1	1	1
■管補強工						
管補強工	ジョイントブーツ: VUφ300	箇所	3	2	1	
	ジョイントブーツ: VUφ250	箇所	2		1	1
■その他						

柵設置工

雨水				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2015
〃 接続番号				雨No. 7
上流側路線番号				雨2014
〃 接続番号				雨No. 8
■柵設置工				
■取付管工				
管布設延長	VU φ 150: 2.0m未満	m	2.07	2.07
直管	VU φ 150	本	0.5	0.52
曲管	VU φ 250: VU φ 150: 45°	本	1	1
カー	VU φ 150	個	0	0
キャップ	VU φ 150	個	1	1
■取付管基礎工				
基礎数量	VU φ 150: 水砕スラグ 360	m3	0.3	0.38
■取付管土工等				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m2	1.1	1.14
がら処分	AS: 処分	m3	0.0	0.03
■土工掘削工				
掘削土量	砂・砂質土	m3	1.0	1.00
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	砕石: 購入	m3	0.5	0.58
埋戻し量合計	砕石: 購入	m3	0.5	0.58
■残土処分工				
処分	砂・砂質土: 処分	m3	1.0	1.00
■その他				

柵設置工確認

雨水				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				雨2015
〃 接続番号				雨No. 7
上流側路線番号				雨2014
〃 接続番号				雨No. 8
■ 柵設置確認				
管布設延長	NO. 柵10	m	2.20	2.20
■ 取付管延長別箇所数				
箇所数	3m未満	箇所	1	1

数量計算総括表

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事(污水)

明石市下水道質下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事 (污水)	
施工場所	明石市和坂3丁目地内	
発注者	明石市下水道質下水道整備課	

開削工数量総括表

汚水:本管:VUφ250						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				船合_5076	汚2013	汚2013
〃 接続番号				合No.1	汚No.1	汚No.2
上流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2013
〃 接続番号				汚No.1	汚No.2	汚No.3
■開削工						
区間延長		m	83.00	3.00	30.00	50.00
平均掘削深		m		2.042	2.027	1.892
掘削幅		m		0.90	0.90	0.90
■管布設工						
管布設延長		m	80.15	1.95	29.10	49.10
管体延長		m	80.15	1.95	29.10	49.10
管本数		本	20.0	0.49	7.28	12.28
下流人孔継手		本	0	0	0	0
上流人孔継手		本	0	0	0	0
副管用継手		本	0	0	0	0
■管基礎工						
基礎数量	機械投入: VUφ250: 水砕スラグ 360	m3	30.2	1.09	10.93	18.22
■その他管渠布設工						
■土工						
 ■舗装掘削工						
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	2.7	2.70		
	AS: 0.03	m2	72.0		27.00	45.00
ガラ処分	AS: 処分	m3	2.3	0.14	0.81	1.35
■掘削工						
全掘削土量		m3	143.0	5.37	54.00	83.70
土留掘削土量	土留	m3	143.0	5.37	54.00	83.70
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	5.3	5.37		
■埋戻し工						
BC区分埋戻し量	土留: 碎石: 購入	m3	107.9	3.84	41.31	62.78
埋戻し量合計	土留: 碎石: 購入	m3	107.9	3.84	41.31	62.78
■残土処分工						
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	143.0	5.37	54.00	83.70
■その他土工						
既設Co取壊工	有筋Co	m3	18.9		6.75	12.15
残塊処分工	有筋Co	m3	18.9		6.75	12.15
■土留工						

開削工数量総括表

汚水:本管:VUφ250						
名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
下流側路線番号				船合_5076	汚2013	汚2013
〃 接続番号				合No. 1	汚No. 1	汚No. 2
上流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2013
〃 接続番号				汚No. 1	汚No. 2	汚No. 3
■矢板打込み工						
■矢板建込み工						
土留延長	アルミ: 2.5: 100	m	3.00	3.00		
■ハコ建込み工						
土留延長	2.5: 0.9	m	30.00		30.00	
	2: 0.9	m	50.00			50.00
■素掘						
素掘延長		m	0.00	0.00	0.00	0.00
■支保工設置						
土留延長	アルミ: 2.5: 2段: 軽金属120×75	m	3.00	3.00		
建込支保工設置撤去	2段	m	3.00	3.00		
■その他開削工						

開削工数量総括表 (2)

汚水:本管:VUφ200							
名称	集計単位	単位	合計数量	数量			
下流側路線番号				汚2013	船合_5076	汚2014	汚2014
" 接続番号				汚No. 3	合No. 1	汚No. 7	汚No. 8
上流側路線番号				汚2009	汚2014	汚2014	汚2014
" 接続番号				汚No. 4	汚No. 7	汚No. 8	汚No. 9
■開削工							
区間延長		m	96.00	25.00	5.00	26.00	40.00
平均掘削深		m		1.704	1.665	1.300	1.181
掘削幅		m		0.90	0.90	0.60	0.60
■管布設工							
管布設延長		m	92.85	24.10	4.25	25.40	39.10
管体延長		m	92.85	24.10	4.25	25.40	39.10
管本数		本	23.2	6.03	1.06	6.35	9.78
下流人孔継手		本	0	0	0	0	0
上流人孔継手		本	0	0	0	0	0
副管用継手		本	0	0	0	0	0
■管基礎工							
基礎数量	機械投入: VUφ200: 水砕スラグ 360	m3	24.1	8.44	1.69	5.53	8.50
■その他管渠布設工							
■土工							
■舗装掘削工							
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	4.5		4.50		
	AS: 0.03	m2	62.1	22.50		15.60	24.00
ガラ処分	AS: 処分	m3	2.1	0.68	0.23	0.47	0.72
■掘削工							
全掘削土量		m3	92.2	37.57	7.29	19.81	27.60
土留掘削土量	土留	m3	44.8	37.57	7.29		
	素掘	m3	47.4			19.81	27.60
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	7.2		7.29		
	素掘: 砂・砂質土	m3	47.4			19.81	27.60
■埋戻し工							
BC区分埋戻し量	土留: 碎石: 購入	m3	33.2	28.30	4.94		
	素掘: 碎石: 購入	m3	30.9			13.32	17.64
埋戻し量合計	土留: 碎石: 購入	m3	33.2	28.30	4.94		
	素掘: 碎石: 購入	m3	30.9			13.32	17.64
■残土処分工							
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	44.8	37.57	7.29		

開削工数量総括表 (2)

汚水:本管:VUφ200							
名称	集計単位	単位	合計数量	数量			
下流側路線番号				汚2013	船合_5076	汚2014	汚2014
〃 接続番号				汚No.3	合No.1	汚No.7	汚No.8
上流側路線番号				汚2009	汚2014	汚2014	汚2014
〃 接続番号				汚No.4	汚No.7	汚No.8	汚No.9
	素掘:砂・砂質土:処分	m3	47.4			19.81	27.60
■その他土工							
既設Co取壊工	有筋Co	m3	14.76			4.68	10.08
残塊処分工	有筋Co	m3	14.76			4.68	10.08
■土留工							
■矢板打込み工							
■矢板建込み工							
土留延長	アルミ:2:100	m	5.00		5.00		
■ハ 祉建込み工							
土留延長	2:0.9	m	25.00	25.00			
■素掘							
素掘延長		m	66.00	0.00	0.00	26.00	40.00
■支保工設置							
土留延長	アルミ:2:1段:軽金属120×75	m	5.00		5.00		
建込支保工設置撤去	1段	m	5.00		5.00		
■その他開削工							

組立人孔築造工

合流:U型2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				船合_5076
接続番号				合No. 1
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		2.158
■上部工				
■ブロック				
■底部工				
■管補強工				
■その他				

組立人孔築造工 (2)

汚水:V型1号									
名称	集計単位	単位	合計数量	数量					
路線番号				汚2013	汚2013	汚2013	汚2009	汚2014	汚2014
接続番号				汚No.1	汚No.2	汚No.3	汚No.4	汚No.8	汚No.9
■組立人孔築造工									
■人孔設置工									
人孔深		m		1.933	1.923	1.663	1.548	1.158	1.008
人孔設置工	3m以下	箇所	6	1	1	1	1	1	1
削孔工	VUφ250	箇所	2	1	1				
	HPφ300B	箇所	1			1			
	VUφ200	箇所	3			1	1	1	
	VUφ150	箇所	2				1		1
■上部工									
蓋設置工	耐スリップ型T14	箇所	3	1	1	1			
	T14	箇所	3				1	1	1
調整工		箇所	6	1	1	1	1	1	1
蓋取付ボルト	調整150mm用	組	4	1		1		1	1
	調整100mm用	組	1		1				
	調整250mm超用	組	1				1		
調整リング	H80	組	4	1			1	1	1
	H50	組	6	1	2	1		1	1
	H100	組	1			1			
	H150	組	1				1		
セフティラダー		箇所	0	0	0	0	0	0	0
■ブロック									
斜壁ブロック	H600	組	4	1	1	1	1		
	H300	組	1					1	
	H150床版	組	1						1
直壁ブロック	H300	組	2	1	1				
躯体ブロック(底付等)	H900	組	3	1	1	1			
	H700	組	3				1	1	1
■底部工									
インハート		箇所	6	1	1	1	1	1	1
碎石	碎石	箇所	6	1	1	1	1	1	1
■管補強工									

塩ビ製小型人孔

汚水				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				汚2014
接続番号				汚No. 7
■簡易人孔設置工				
■人孔設置工				
人孔深		m		1.534
人孔設置工	2m未満	箇所	1	1
■人孔材料				
本体	中間用 φ 300: 45° : φ 200	組	1	1
立管	φ 300	本	0.2	0.27
人孔蓋	保護蓋 φ 400: T14	組	1	1
内蓋	φ 300	枚	1	1
V型自在継手	φ 200: 15°	組	1	1
■その他				

柵設置工

汚水							
名称	集計単位	単位	合計数量	数量			
下流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2013	汚2014
〃 接続番号				汚No. 1	汚No. 2	汚No. 3	汚No. 8
上流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2009	汚2014
〃 接続番号				汚No. 2	汚No. 3	汚No. 4	汚No. 9
■柵設置工							
■取付管工							
管布設延長	VUφ150: 2.0m未満	m	9.20	1.80	4.50	1.60	1.30
直管	VUφ150	本	3.9	0.88	2.05	0.70	0.33
曲管	VUφ250: VUφ150: 45°	本	7	2	5		
	VUφ200: VUφ150: 45°	本	3			2	1
支管	VUφ250: VUφ150: 固定	本	7	2	5		
	VUφ200: VUφ150: 固定	本	3			2	1
カー	VUφ150	個	0	0	0	0	0
キャップ	VUφ150	個	8	2	5	1	0
■取付管基礎工							
基礎数量	VUφ150: 水砕スラグ ³⁶⁰	m ³	0.9	0.18	0.45	0.14	0.20
■取付管土工等							
■舗装掘削工							
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m ²	1.6	0.30	0.75	0.09	0.48
	AS: 0.05	m ²	0.0			0.09	
ガラ処分	AS: 処分	m ³	0.0	0.00	0.00	0.00	0.01
■土工掘削工							
掘削土量	砂・砂質土	m ³	2.5	0.48	1.20	0.38	0.53
■埋戻し工							
BC区分埋戻し量	砕石: 購入	m ³	1.5	0.28	0.70	0.22	0.31
埋戻し量合計	砕石: 購入	m ³	1.5	0.28	0.70	0.22	0.31
■残土処分工							
処分	砂・砂質土: 処分	m ³	2.5	0.48	1.20	0.38	0.53
■その他							

柵設置工確認

汚水							
名称	集計単位	単位	合計数量	数量			
下流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2013	汚2014
〃 接続番号				汚No. 1	汚No. 2	汚No. 3	汚No. 8
上流側路線番号				汚2013	汚2013	汚2009	汚2014
〃 接続番号				汚No. 2	汚No. 3	汚No. 4	汚No. 9
■ 柵設置確認							
管布設延長	NO. 柵 1	m	0.90	0.90			
	NO. 柵 2	m	0.90	0.90			
	NO. 柵 3	m	0.90		0.90		
	NO. 柵 4	m	0.90		0.90		
	NO. 柵 5	m	0.90		0.90		
	NO. 柵 6	m	0.90		0.90		
	NO. 柵 7	m	0.90		0.90		
	NO. 柵 8	m	0.80			0.80	
	NO. 柵 9	m	0.80			0.80	
	NO. 柵 10	m	1.30				1.30
■ 取付管延長別箇所数							
箇所数	3m未満	箇所	10	2	5	2	1

全体部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量
工区全体			
■付帯工			
■舗装本復旧工			
■舗装切断			
区間部	AS: 0.05	m	16.3
	AS: 0.03	m	347.4
本復旧部	AS: 0.05	m	9.0
	AS: 0.03	m	37.0
舗装切断合計	AS: 0.05	m	25.3
	AS: 0.03	m	384.4
■舗装版破碎工			
仮復旧直接掘削積込	AS	m2	0.0
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	15.0
	AS: 0.03	m2	33.0
ガラ処分	AS: 処分	m3	1.7
■直接掘削工			
■本復旧工			
先行上層路盤	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	7.2
表層	密粒AS: 再生: 3cm: 0.03	m2	33.0
	密粒AS: 再生フ ^o ライムコート: 5cm: 0.05	m2	15.0
不陸整正	再生切込碎石0.03	m2	33.0
	粒調碎石0.03	m2	15.0
■L型側溝設置工			
■歩車道ブロック復旧工			
■ウェルポイント設置工			
■道路区画線工			
■その他付帯工			

数量計算総括表

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事(撤去)

明石市下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事 (撤去)	
施工場所	明石市和坂3丁目地内	
発注者	明石市下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

合流:本管:HP φ 300B				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				船合_5098
" 接続番号				船合_5098
上流側路線番号				船合_5099
" 接続番号				船合_5098+6.00
■開削工				
区間延長		m	6.00	6.00
平均掘削深		m		1.264
掘削幅		m		0.60
■管布設工				
管布設延長		m	0.00	0.00
管体延長		m	0.00	0.00
全管本数		本	0	0
半管本数		本	0	0
■管基礎工				
■その他管渠布設工				
■土工				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m2	3.6	3.60
かゝ処分	AS: 処分	m3	0.1	0.11
■掘削工				
全掘削土量		m3	4.4	4.43
土留掘削土量	素掘	m3	4.4	4.43
掘削土量	素掘: 砂・砂質土	m3	4.4	4.43
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	素掘: 碎石: 購入	m3	3.8	3.83
埋戻し量合計	素掘: 碎石: 購入	m3	3.8	3.83
■残土処分工				
処分量	素掘: 砂・砂質土: 処分	m3	4.4	4.43
■その他土工				
■土留工				
■矢板打込み工				
■矢板建込み工				
■ハネ建込み工				
■素掘				
素掘延長		m	6.00	6.00

開削工数量総括表

合流:本管:HP φ 300B				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				船合_5098
〃 接続番号				船合_5098
上流側路線番号				船合_5099
〃 接続番号				船合_5098+6.00
■支保工設置				
■その他開削工				

開削工数量総括表 (2)

合流:本管:HP φ 250B					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
下流側路線番号				船合_5080	船合_5080
〃 接続番号				船合_5079+17.00	船合_5080
上流側路線番号				船合_5080	船合_5081
〃 接続番号				船合_5080	船合_5081
■開削工					
区間延長		m	44.00	18.00	26.00
平均掘削深		m		0.858	0.668
掘削幅		m		0.60	0.60
■管布設工					
管布設延長		m	0.00	0.00	0.00
管体延長		m	0.00	0.00	0.00
全管本数		本	0	0	0
半管本数		本	0	0	0
■管基礎工					
■その他管渠布設工					
■土工					
■舗装掘削工					
舗装直接掘削積込	AS: 0.03	m2	18.0	7.20	10.80
	AS: 0.1	m2	8.4	3.60	4.80
ガラ処分	AS: 処分	m3	1.3	0.58	0.80
■掘削工					
全掘削土量		m3	18.3	8.71	9.65
土留掘削土量	素掘	m3	18.3	8.71	9.65
掘削土量	素掘: 砂・砂質土	m3	18.3	8.71	9.65
■埋戻し工					
BC区分埋戻し量	素掘: 碎石: 購入	m3	17.4	8.33	9.14
埋戻し量合計	素掘: 碎石: 購入	m3	17.4	8.33	9.14
■残土処分工					
処分量	素掘: 砂・砂質土: 処分	m3	18.3	8.71	9.65
■その他土工					
■土留工					
■矢板打込み工					
■矢板建込み工					
■ハ 祉建込み工					
■素掘					

開削工数量総括表 (2)

合流:本管:HP φ 250B					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
下流側路線番号				船合_5080	船合_5080
" 接続番号				船合_5079+17.00	船合_5080
上流側路線番号				船合_5080	船合_5081
" 接続番号				船合_5080	船合_5081
素掘延長		m	44.00	18.00	26.00
■支保工設置					
■その他開削工					

現打人孔築造工

合流: 1号					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
路線番号				船合_5098	船合_5081
接続番号				船合_5098	船合_5081
■現打人孔築造工					
■人孔設置工					
人孔深		m		1.602	0.807
■上部工					
■ブロック					
■床版工					
■側壁工					
■中間スラブ工					
■底部工					
■足掛け金物設置工					
■管補強工					
■その他					

組立人孔築造工

合流:V型1号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				船合_5080
接続番号				船合_5080
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		1.085
■上部工				
■ブロック				
■底部工				
■管補強工				
■その他				

区間部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	数量		
				船合_5098	船合_5080	船合_5080
下流側路線番号				船合_5098	船合_5080	船合_5080
〃 接続番号				船合_5098	船合_5079+17.00	船合_5080
上流側路線番号				船合_5099	船合_5080	船合_5081
〃 接続番号				船合_5098+6.00	船合_5080	船合_5081
■区間部付帯工						
■舗装切断						
本管部（全体部で集計）	AS: 0.03	m	72.0			
	AS: 0.1	m	28.0			
■仮復旧工						
■本管部舗装仮復旧工						
舗装仮復旧	AS: 0.03	m2	21.6	3.60	7.20	10.80
	AS: 0.05	m2	8.4		3.60	4.80
路盤（全体部で集計）	粗粒As: 5cm: 0.05	m2	8.4		3.60	4.80
	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	8.4		3.60	4.80
■取付管部舗装仮復旧工						
■合計						
舗装仮復旧	AS: 0.03	m2	21.6	3.60	7.20	10.80
	AS: 0.05	m2	8.4		3.60	4.80
路盤（全体部で集計）	粗粒As: 5cm: 0.05	m2	8.4		3.60	4.80
	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	8.4		3.60	4.80
■柵取付管補強工						
■その他本管部付帯工						
■その他柵付帯工						

既設管・既設人孔撤去数量

区間	管種	内径 m	外径 m	延長 m	矢板、素掘	外径面積 ㎡	埋戻土量 ㎡	管材量 ㎡/m	ガラ処分量 ㎡	掘削深 下流(m)	掘削深 上流(m)	掘削深 平均(m)
船合_5098~+6.00	HP	0.300	0.360	5.75	素掘	0.102	0.59	0.031	0.18	1.272	1.255	1.260
船合_5079+17.00~5081	HP	0.250	0.306	42.80	素掘	0.074	3.17	0.025	1.07	0.909	0.529	0.720
全体				48.55			3.76		1.25			
取付管	HP				素掘	0.000	0.00	0	0.00			0.00

人孔撤去工

	㎡/箇所	㎡
構造物取壊し	1.00	2.00
ガラ処分	1.00	2.00

管閉塞工

	箇所
HP φ 300	1.00
HP φ 250	1.00

撤去人孔箇所数

2 箇所

掘削控除、ガラ処分集計

区間	延長 m	掘削控除 ㎡	ガラ処分量 ㎡
素掘区間	48.55	3.8	1.2
矢板区間	0.00	0.0	0.0
取付管	0.00	0.0	0.0
人孔			2.0
合計			3.2

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事

特記仕様書

明石市都市局下水道室下水道整備課

特記仕様書

工 事 名 国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事

工 事 場 所 明石市和坂3丁目 地内

工期

本工事の工期は令和5年3月31日までとする。

(ただし、本件について国庫補助事業の繰越承認等がされた場合は、工期を令和5年9月29日までとする予定である。)

適用

本仕様書は、明石市都市局下水道室下水道整備課が発注する『国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事』に適用する。

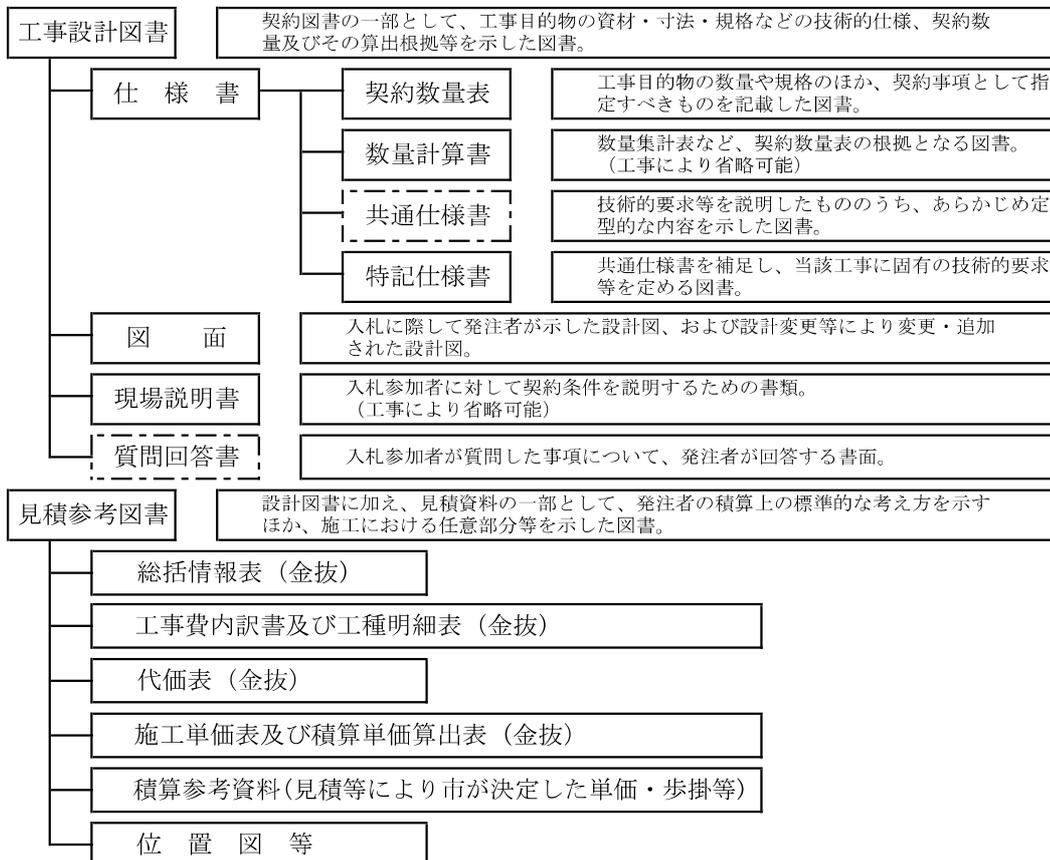
基準図書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次の図書による。

- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
- ※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月(第3回改訂版)）」

設計図書

- 本工事においては、明石市工事請負契約約款 第1条に規定するものを設計図書とする。
- 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。



施工範囲における留意事項

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

設計図書の照査

現地測量は、測量標(仮BM等)、工事中多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認すること。また、特に、排水勾配・舗装縦断勾配においては測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

側溝高等に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

埋蔵文化財・有価物件の処理

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

基準点

公共基準点(基準点、水準点、街区基準点、街区点等)の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

安全確保

- 工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。
- 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ(高さ)を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。
- 試掘調査及び沈下観測孔の設置については、近接する施設の管理者との立ち会い及び協議により実施箇所を決定するものとする。その結果、設計図書と相違が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
- 既設人孔等に入る時は、人孔内の安全には特に注意し、ガス検知器を用いて3名以上で確認後、作業に着手すること。
- 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
- 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占有企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。
- 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
- 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。

仮設用水、仮設電気

関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。

保険等

明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。なお、監督員には保険証の写しを添付した報告書にて報告を行うこと。

工事説明会

監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。

事故および苦情

発生した場合は速やかに対応し、処置状況を監督員に連絡すること。

段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

境界確認

構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認のうえ設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。

施工計画書の作成

工事着手時までに施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。

工事カルテの提出

請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。

変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

後日、「登録内容確認書」を提出すること。

施工体制台帳および施工体系図

作成し速やかに提出すること。また建設業許可証・契約書（下請負契約も含む）の写しも提出すること。なお、本工事に関連する全ての業者に適用する。

施工体制台帳は工事現場に備え付けること。

施工体系図は公衆の見やすい場所に掲示すること。

身分証明

受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。

（名札の例）

写真 2cm×3cm 程度	氏名	〇〇 〇〇
	工事名	〇〇〇(〇市区)管渠工事
	工期	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日
	会社名	〇〇建設株式会社
		印

使用建設機械

低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。

バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

施工現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。

使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

工事関係車輛

夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

足場その他

足場及び支保工の安全確認は、チェックリスト等で確認して保管すること。

建設副産物

- 再資源化施設への搬入を要する建設副産物
 - コンクリート塊
 - アスファルト塊
 - 下記の書類を提出すること。
 - 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。
 - 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。
 - 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。
 - 建設リサイクル法等に基づく手続き
 - 受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。
 - ・再資源化が完了した年月日
 - ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - ・再資源化等に要した費用
- 併せて、再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)を提出するものとする。

発生材の処分地例及び問合先

本工事は施工箇所が点在する。

積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	前田道路(株)神戸合材工場	運搬距離 14.5 km
コンクリート塊(有筋)	田口建材(株)松陰	運搬距離 7.3 km
建設発生土	田口建材(株)大窪	運搬距離 7.4 km
建設発生土(小規模)	(株)明神リサイクルセンター明石	運搬距離 6.5 km

- 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。
- 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。
- 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。
- 兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 積算単価表」に記載されている処分地とすること。
- 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。
- 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。
- 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

仮設材の運搬

仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

履行報告

工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出すること。

交通誘導警備員、安全管理、安全教育

- 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。

- 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
- 交通誘導警備員については、作業時間中（調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置）配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。
- 交通誘導警備員の1日当たりの配置人数は、下記のとおりとする。

交差点部	交通誘導警備員A1名、交通誘導警備員B 4名、交替要員A1名	合計6名
上記以外	交通誘導警備員A1名、交通誘導警備員B 2名、交替要員A1名	合計4名

交通誘導警備員A

警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第1項第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導警備員B

警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの

交替要員

昼休みなどの休憩中も交替で交通誘導を行うものとし、現場の必要配置人数とは別に計上するもの。積算単価は交通誘導員B。

- 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。
 - ・交通誘導警備検定合格証（写し）
 - ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
 - ・指定講習修了証明書（写し）
 - ・警備業法施行規則 第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類
- 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月1回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。
 - ① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - ② 当該工事内容等の周知徹底
 - ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - ④ 当該工事における災害対策訓練
 - ⑤ 当該工事現場で予想される事故対策
 - ⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項
- 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。
- 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。

掲示物

以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。

- 建設業許可の標識掲示
- 施工体系図の掲示
- 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）
- 労災保険関係成立票の掲示
- 緊急連絡体制の掲示
- 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画
 - 掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式※を使用すること
 - ※システム改修完了後に出力可能（令和5年3月末予定）

備品

以下の項目については、現場事務所内に備えつけること。

- 施工体制台帳
- 新規入場者教育記録
- 受注者の安全巡視、KY活動の記録

緊急時の連絡体制の作成

年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。

また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。

工程管理

工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。

写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

品質管理

- コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品

マーク取得工場に限定する。

鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

底部(インバート)工、既設人孔連絡工等における少量のレディーミクストコンクリートの規格については、積算時における参考の条件として明示している。請負者は、止水性、施工性の良い適切な材料を選定し、施工計画書に含め、監督員と協議すること。なお、受注者の選定した材料が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

セメントコンクリート二次製品の品質確認は、兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 土木の技術管理に関すること」に記載される「セメントコンクリート二次製品の取扱要領」に基づき実施すること。

- 再生切込砕石、粒調砕石の修正CBR値

30%以上、80%以上とする。

- 境界ブロック

下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

- 現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000m²につき1個とし、施工面積が2,000m²未満の場合の規格値はX3の場合の規格値とする。施工面積が500m²未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

使用材料一般

- 日本下水道協会(JSWAS)、日本水道協会(JWWAS)の規格認定品については、認定書等により、使用する製品が認証製品であることを確認することとし、材料の試験成績表等の品質証明書の提出(『使用材料承諾願』への添付)は不要とする。

- 埋戻土については、試掘にて掘削箇所の土砂を採取し、別添「埋戻し工に関する仕様書」に基づき土質試験を実施し、その結果、掘削土を埋戻土として使用が可能な場合は設計変更の対象とする。

人孔

- 人孔接合部の使用材料については、ジョイントブーツを使用すること。使用箇所は監督員に確認すること。

- ブロック人孔設置における調整ブロックは、2個以上かつ合計10cm以上25cm以下にて設置すること。

- 鉄蓋据付時には、調整モルタルとして無収縮モルタルを使用し、本市の施工マニュアルに基づいて施工すること。

- 鉄蓋表面(蓋裏も含む)及び受枠に補修剤を塗装する場合は、ポリアクリル樹脂を主成分とした塗料もしくは、鋳鉄用の黒ワズを使用すること。

- 耐スリップ型マンホール蓋の使用箇所については監督員に確認すること。

- 副管設置箇所については、監督員に確認すること。

舗装復旧

- 舗装復旧工事における復旧範囲及び舗装構成については、市道管理者と立会をし決定すること。
- 路盤での交通開放は行わないものとし、本復旧が不可能な場合は監督員と協議すること。

地域への配慮

- 本工事区域は一般家屋及び店舗が建ち並ぶ区域のため、低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用するとともに、迂回路対策等を適切に行うこと。
- ダンプトラックの過積載や積みこぼしのないことは勿論のこと、作業終了時における清掃も怠らないようにすること。

官民境界付近での施工

- 公道と民地の境界が明確でない箇所について、本工事の施工により民地側に影響を与える恐れがある場合、あらかじめ所有者の承諾を得たうえで工事をおこなうこと。また、工事終了時に所有者の承諾のもと、復旧を行うこと。

完成図書等

- 図面はA1（B5折り）で提出すること。
- 発注用のCADデータを貸与するので完成図をCADデータで提出すること。
CADデータは、AutoCAD形式（拡張子：dwg）にて貸与する。
CADデータの変換が必要な場合は、受注者の責において対応すること。
- 工事写真においてダイジェスト版を各工種毎に1部整理して別綴で提出すること。
- 保存バインダーや保存箱は、金属金具等を使用していない可燃性のものとする。

架空線（関西電力）の防護管取付け

- 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

その他特記事項

- 本工事は、水道局工務担当が発注する「和坂3丁目ほか地内配水管布設工事」との合併工事である。
- 本合併工事については、本合併工事以外の工事との現場代理人の兼務を認めない。
- 本工事は、合併工事と共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費調整を行っている。
- 本工事においては、合併工事との調整を十分に行い施工すること。
- 本工事は、一般国道2号和坂拡幅事業用地内に雨水管及び污水管を布設する工事である。同じ工事ヤード内で施工中の兵庫県播磨県民局 加古川土木事務所 明石街づくり対策室(以後、「明石街づくり対策室」と称す。)が発注する工事と工程調整を図ること。
- 舗装復旧については明石街づくり対策室発注工事が行うため、交差点部のみ舗装復旧、その他区間については仮舗装での工事完成とする。なお、明石街づくり対策室との協議により舗装復旧方法が変更となった場合は、発注者と協議の上、設計変更の対象とする。
- 他工事による占用物の埋設計画があることから、受注者は施工前に必ず監督員に雨水管及び污水管の埋設位置等の確認を行うこと。

☑ 埋戻し工に関する仕様書

- ☑ 発生土の効率的な利用を図るため、「発生土利用基準について」（平成18年8月10日付 国官技第112号、国官総第309号、国営計第59号）に基づき、下記試験を実施し、土質区分の判定を行うものとする。

- ・ 締固めた土のコーン指数試験（JIS A 1228）
- ・ 土の含水比試験（JIS A 1203）
- ・ 土の粒度試験（JIS A 1204）
- ・ 土の液性限界・塑性限界試験（JIS A 1205）

上記試験の結果、第1種及び第2種建設発生土に区分された土（適用用途：工作物の埋戻し）をCBRの指定がある道路（明石市道及び法定外道路など）に利用しようとする場合は、下記試験を実施する。

- ・ CBR試験（JIS A 1211）

CBRの指定がない道路に利用しようとする場合及び、上記試験の結果、指定されたCBRを満足した場合は、発生土を埋戻土として利用するものとし、下記試験を実施する。

- ・ 突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）

なお、追加実施した試験に要する費用は設計変更の対象とする。

☑ 埋戻し土の品質管理について

現場密度の測定は下記のいずれかを実施すること。なお、試験位置、時期及び試験基準については監督員と協議し試験を実施すること。（平成26年10月適用）

「品質管理基準」

試験項目	試験方法	品質規格値
現場密度の測定	最大粒径 ≤ 53mm :	土木工事施工管理基準（平成26年10月）
	砂置換法 JIS A 1214	品質管理基準及び規格値
	最大粒径 > 53mm :	21道路土工 参照
	突砂法（舗装調査・試験法便覧[4]-185）	

試験基準

路体の場合、1,000m³につき1回の割合で行う。ただし、5,000m³未満の工事は、1工事当たり3回以上。路床及び構造物取付け部の場合、500m³につき1回の割合で行う。ただし、1,500m³未満の工事は1工事当たり3回以上。1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。

※ 試験に要する費用は、受注者の負担とする。

- ☑ 管の天端または暗渠のスラブ天端から30cmは、管渠に衝撃を与えないよう注意しながら、両側同時に埋め戻し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎に木蛸の類により十分に締め固めること。砂あるいは水砕スラグを用いる場合には良質のものを用い、水締め等を行って、管の下端へ十分に砂が回り込むようにし、管に点荷重がかからないように均一に締め固め布設すること。
- ☑ 前項の埋戻しが完了した後、人力又は掘削機械等により管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、これを人力により敷き均し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎にタンパ等を用いて十分に締め固めること。なお、機械による埋戻しについては、管の天端より30cmを超え100cmまでは投入高を50cm以下とし、それを超える部分の投入高は、150cm以下とする。
- ☑ 掘削溝内に埋設物がある場合には、埋設物管理者との協議に基づく防護を施し、埋設物付近の埋戻し土が将来沈下しないようにすること。
- ☑ 掘削幅が広く、支保工に支障がなく掘削溝に露出した埋設物を損傷する恐れがない場合には、ブルドーザーにより転圧することができる。この場合においても、一層の厚さが30cmを超えない範囲で一層毎に転圧すること。
- ☑ 土留め矢板の引抜きは、埋戻し土の安定を待って徐々に行うよう方法が望ましいが、この方法が困難な場合には、数本おきに矢板を引抜き、引抜き時の空洞には砂等を充てんし、ゆるみが生じないように施工すること。
- ☑ 埋戻し路床の仕上面は、均一な支持力が得られるよう施工し、道路占用許可条件に従わなければならない。なお、監督員が必要と認めて指示する試験は行わなければならない。
- ☑ 埋戻し後、工事完成までの期間は常に埋戻し路面の点検を行い、維持補修を行わなければならない。

☑ 局地的な大雨に関する 下水道工事管渠内工事等安全対策に関する仕様書

※対象作業：雨水が流入する下水道管渠内に作業員が入坑して行う作業全般
(工事・調査・点検・清掃等)

以下の内容を踏まえた施工計画書を作成し、監督員の確認を得るとともに、その内容について、作業関係者全員に周知徹底を図ること。

☑ 現場特性の事前把握について

工事着手前には、当該作業箇所に係る現場特性に関する資料や情報を収集分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握すること。

- ・下水道管渠施設情報（平面図・縦断図、流量計算表）
- ・現場付近の浸水被害、既往事故、地形情報、ハザードマップなどの既往情報
- ・その他、ポンプ施設やビルピット排水の有無の確認、また、その施設の運転情報

☑ 標準的な工事の中止（再開）基準の設定について

下記のいずれかが該当する場合は、工事を中止すること。

標準的な工事等の中止基準

- ①当該作業箇所または上流部に洪水または大雨の注意報・警報が発表された場合
- ②当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生している場合

なお、小雨が降り始めた場合などのあいまいな天候状況であっても、作業を一時中断し、作業員を地上に退避させてから工事中止の判断の検討を行うこと。

また、天候の回復による工事再開は、監督員に確認すること。

☑ 現場特性に応じた工事等の中止（再開）基準

標準的な工事等の中止基準を踏まえ、工事等の箇所毎に現場特性に応じた中止基準を設定すること。

中止基準を強化すべき現場

- ①退避時間が長い（作業箇所が人孔から離れている等）
- ②退避条件が厳しい（人孔蓋を開放しておけない等）
- ③急激な増水特性が予想される（流達時間が短い、水位が高い等）
- ④気象情報が入手しにくい
- ⑤夜間の工事等で天候の状況がわかりにくい
- ⑥水替えなど等の増水緩和対策や十分な流出防止策を講じることができない。

☑ 迅速に退避するための対応

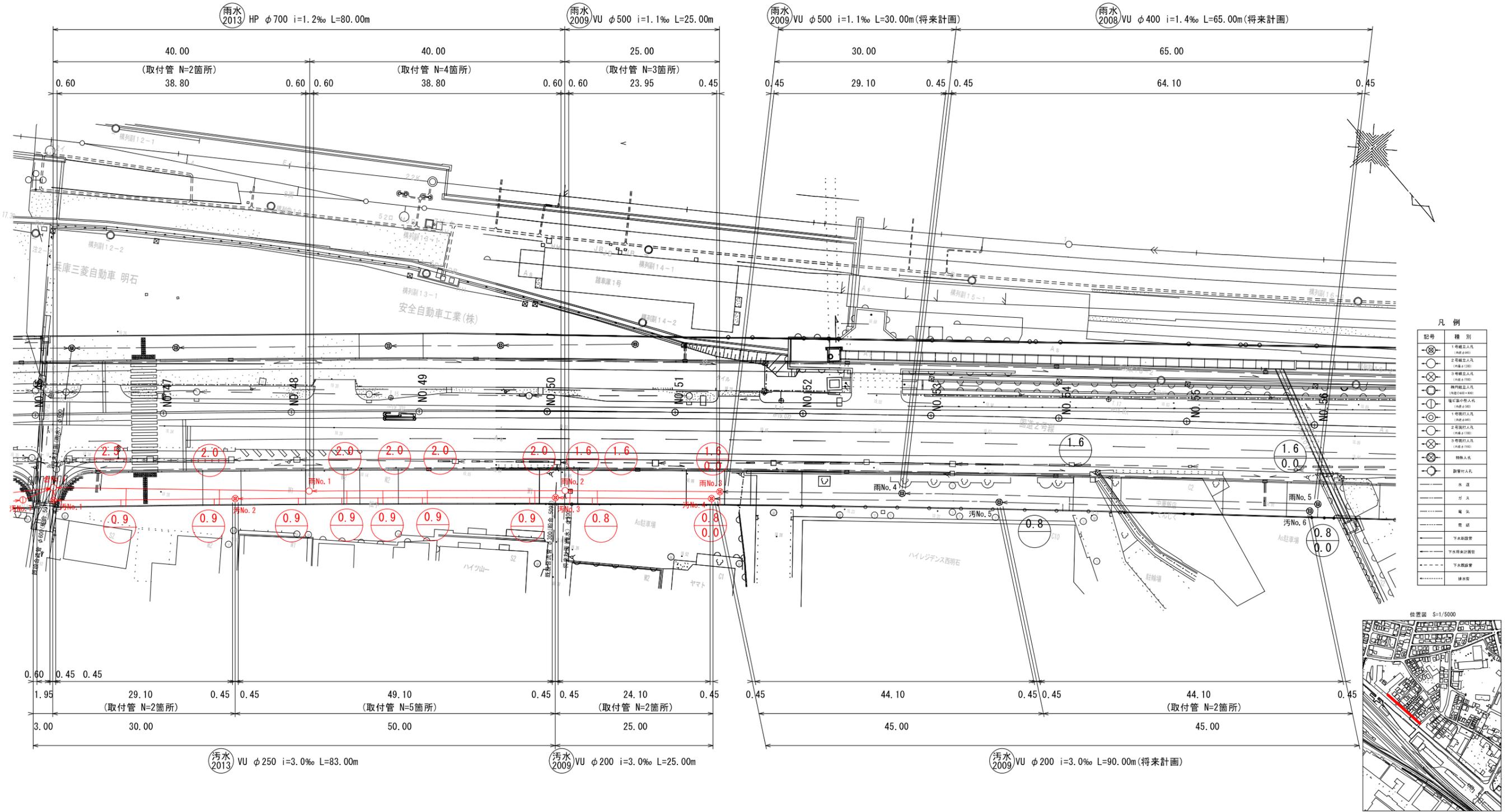
工事等を着手する前には、作業員が安全かつ迅速に退避できるよう、あらかじめ退避時の対応方策について、以下の点について具体的に内容を定めておくこと。

- ①退避手順の設定
- ②安全器具等の設置
- ③情報収集と伝達方法
- ④資機材の取扱い

※参照：局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き（案）平成20年10月

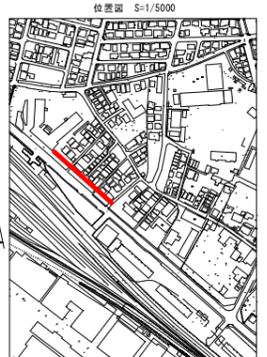
(URL:[http://www.mlit.go.jp/common/000025094.pdf#search='](http://www.mlit.go.jp/common/000025094.pdf#search=))

平面図(1) S=1/300



凡例

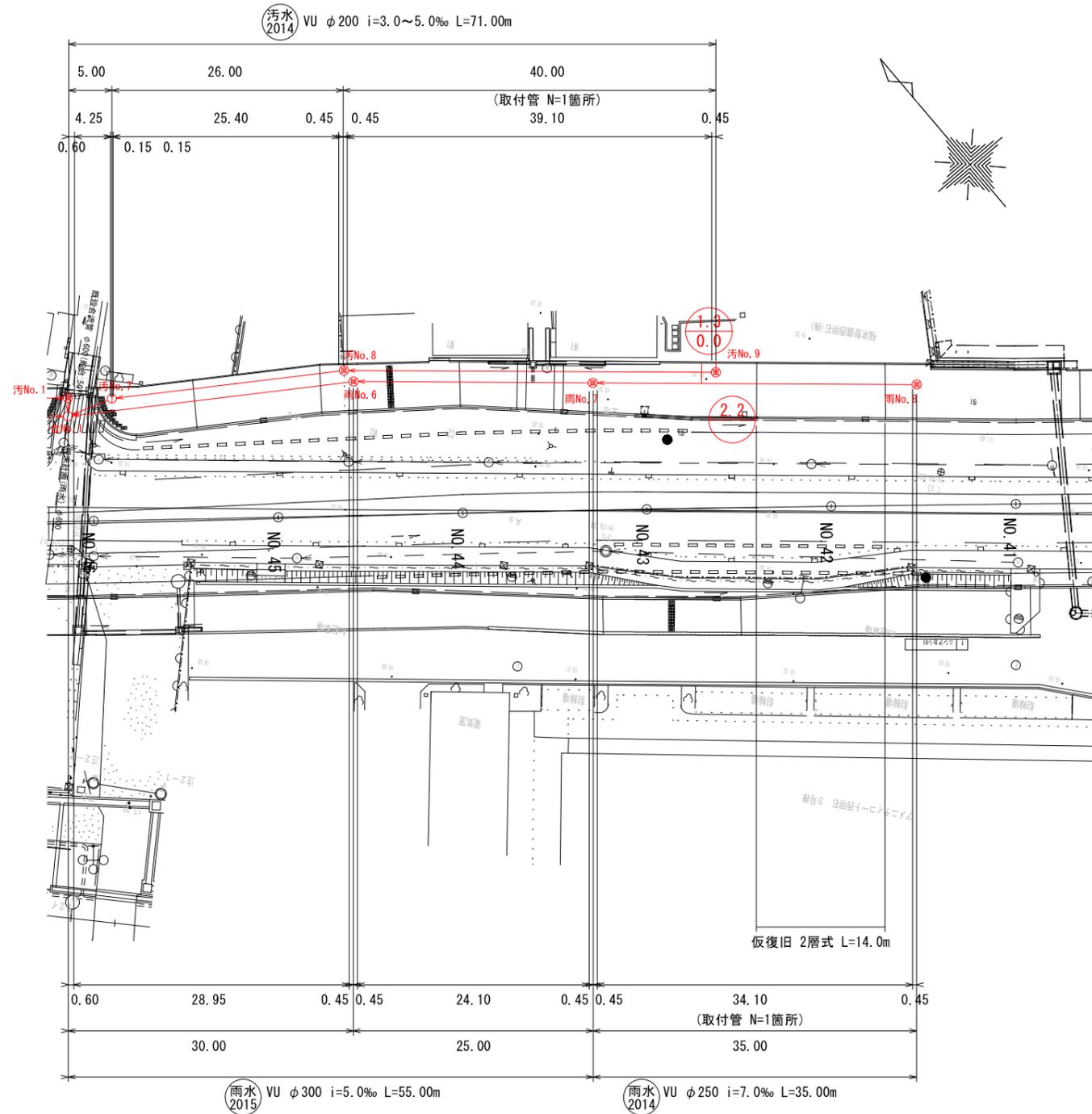
記号	種別
⊗	1号雨水人孔 (口径φ300)
⊙	2号雨水人孔 (口径φ300)
⊕	3号雨水人孔 (口径φ300)
⊖	4号雨水人孔 (口径φ300)
⊗	5号雨水人孔 (口径φ300)
⊙	6号雨水人孔 (口径φ300)
⊕	7号雨水人孔 (口径φ300)
⊖	8号雨水人孔 (口径φ300)
⊗	9号雨水人孔 (口径φ300)
⊙	10号雨水人孔 (口径φ300)
⊕	汚水人孔
⊖	特殊人孔
○	調整人孔
—	水道
---	ガス
----	電線
.....	下水取込管
-----	下水取込管
.....	下水取込管
-----	排水路



※注記: HPφ700の管下基礎厚は0.200mとする

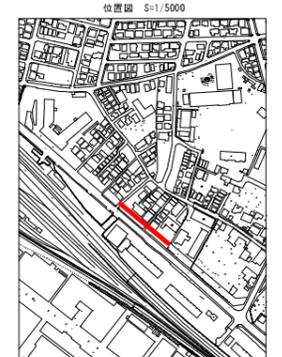
明石市公共下水道			
工事名	国道2号和歌拡幅(3工区)管渠工事		
図面名称	平面図(1)		
施工年度	R4	図面番号	1/10
縮尺	1:300		

平面図(2) S=1/300



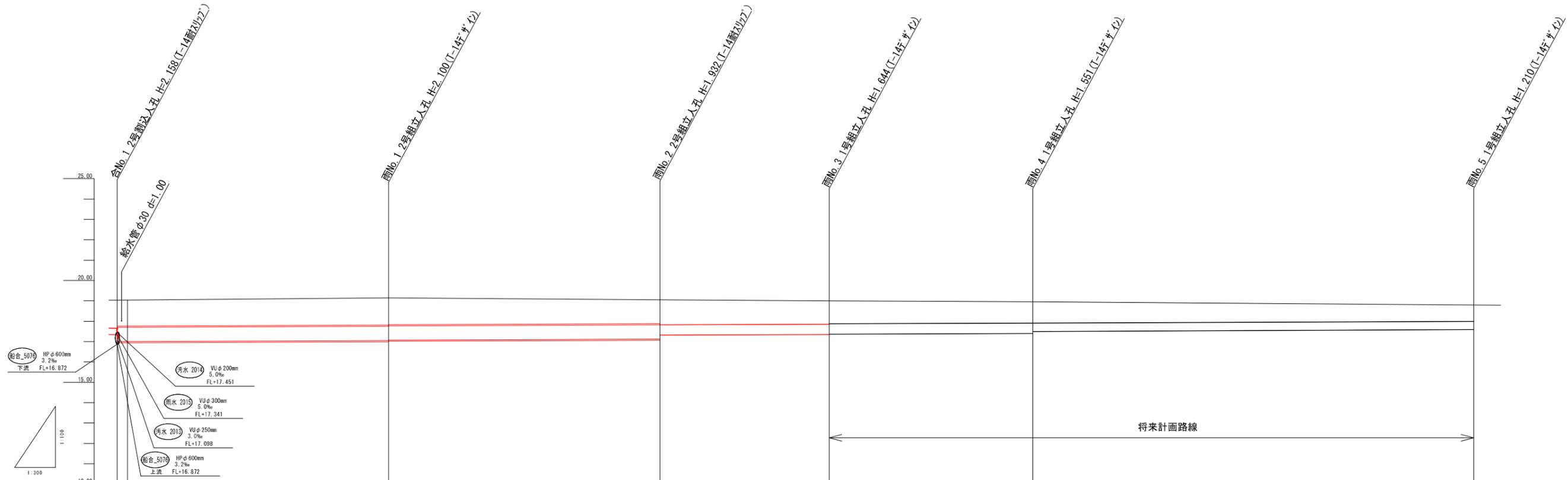
凡例

①	1号検出人孔 (汚水φ200)
②	2号検出人孔 (汚水φ200)
③	3号検出人孔 (汚水φ200)
④	検出器設置人孔 (汚水φ200)
⑤	検出器設置人孔 (雨水φ300)
⑥	1号検出人孔 (雨水φ300)
⑦	2号検出人孔 (雨水φ300)
⑧	3号検出人孔 (雨水φ300)
⑨	特殊人孔
⑩	設置中の人孔
—	水道
—	河川
—	電線
←	下水取込管
←	下水取込管 (設置中)
←	下水取込管
←	雨水管



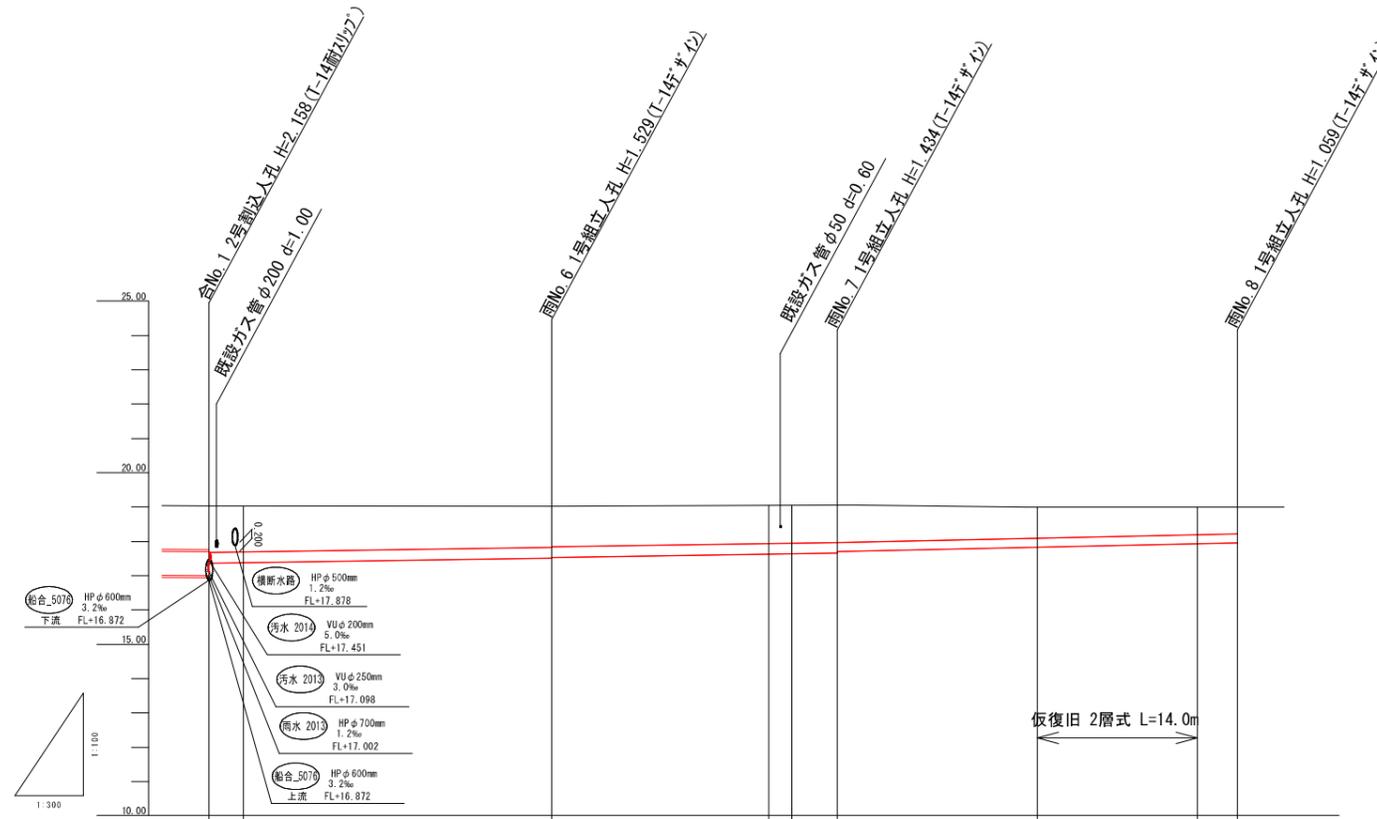
明石市公共下水道				
工事名	国道2号和歌坂幅(3工区)管渠工事			
図面名称	平面図(2)			
施工年度	R4	図面番号	2/10	縮尺
				1:300

縦断図(雨水) (1) S=1/100, 1/300



路線番号	雨水 2013		雨水 2009		雨水 2009		雨水 2008	
管径	HP φ 700		VU φ 500		VU φ 500		VU φ 400	
勾配	1.2‰		1.1‰		1.1‰		1.4‰	
土盛り	1.27 1.28	1.34 1.32	1.17 1.22	1.13 1.11	1.04 1.04	0.80		
掘削深	2.286 2.294	2.358 2.338	2.190 1.842	1.754 1.734	17.399 17.499	17.590		
管底高	17.002 17.004	17.050 17.070	17.118 17.318	17.346 17.366	18.95 18.95	18.80		
計画高	19.03 19.04	19.15	19.05	18.99	18.95	18.80		
地盤高	19.03 19.04	19.15	19.05	18.99	18.95	18.80		
追加距離	0.00 1.50	40.00	80.00	105.00	135.00	200.00		
単距離	0.00 1.50	38.50	40.00	25.00	30.00	65.00		
測点	余No. 1 余No. 1 +1.50	雨No. 1	雨No. 2	雨No. 3	雨No. 4	雨No. 5		

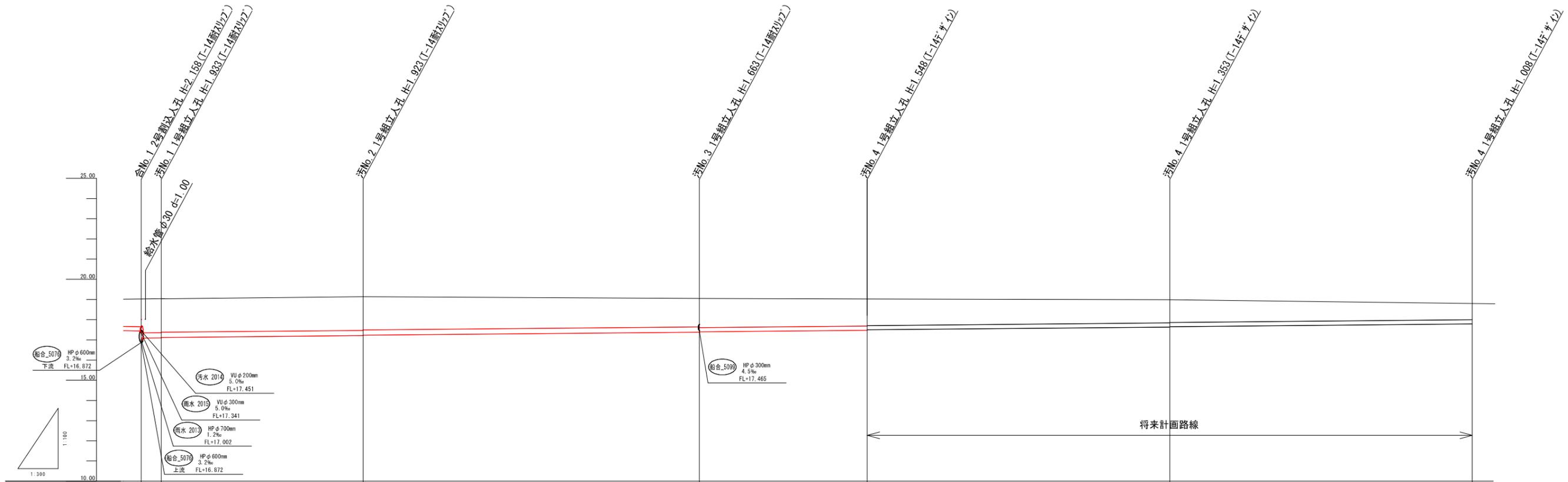
縦断図(雨水) (2) S=1/100, 1/300



路線番号	雨水 2015		雨水 2014	
管 径	VU φ300		VU φ250	
勾 配	5.0‰		7.0‰	
土 被 り	1.38	1.37	1.22 1.20	0.80
掘 削 深	1.788	1.783	1.638 1.618	1.168
管 底 高	17.341 17.356	17.491 17.511	17.606 17.616	17.931
計 画 高	19.03	19.03	19.02	18.99
地 盤 高	19.03	19.03	19.02	18.99
追加距離	0.00	3.00	30.00	90.00
単距離	0.00	3.00	27.00	35.00
測 点	合No. 1 +3.00		雨No. 6 +13.00 +21.00	雨No. 8

明石市公共下水道				
工事名	国道2号和坂広幅(3工区)管渠工事			
図面名称	縦断図(雨水)(2)			
施工年度	R4	図面番号	4/10	縮尺
				1:100 1:300

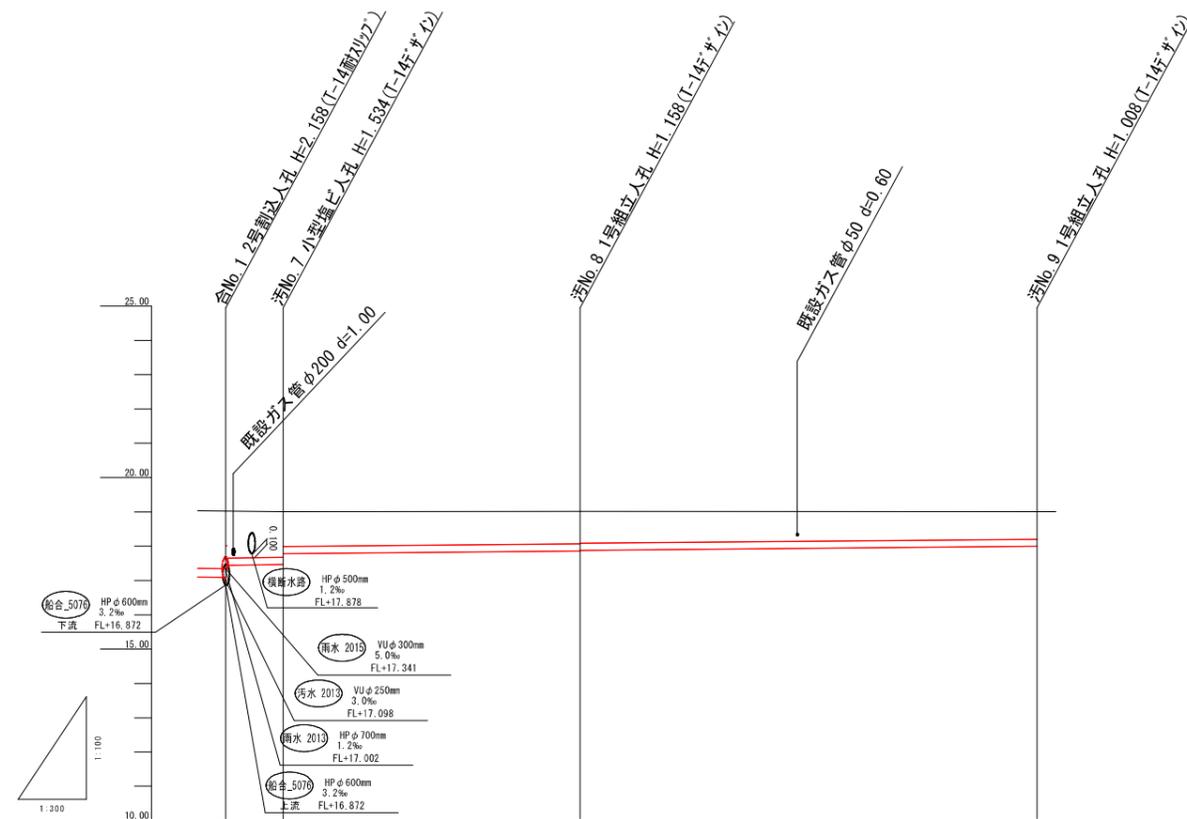
縦断面図(汚水)(1) S=1/100, 1/300



路線番号	汚水 2013		汚水 2009		2009	
管径	VU φ250		VU φ200		VU φ200	
勾配	3.0‰		3.0‰		3.0‰	
土被り	1.67 1.67	1.66 1.64	1.40 1.44	1.34 1.32	1.15 1.13	0.80
掘削深	2.041 2.042 2.022	2.032 2.012	1.772 1.751	1.656 1.636		
管底高	17.098 17.107 17.127	17.217 17.237	17.387 17.407	17.482 17.502	17.637 17.657	17.792
計画高	19.03 19.04	19.14	19.05	19.03	18.99	18.80
地盤高	19.03 19.04	19.14	19.05	19.03		
追加距離	0.00 3.00	33.00	83.00	108.00	153.00	198.00
単距離	0.00 3.00	30.00	50.00	25.00	45.00	45.00
測点	合No.1 汚No.1	汚No.2	汚No.3	汚No.4	汚No.5	汚No.6

明石市公共下水道					
工事名	国道2号和坂広幅(3工区)管渠工事				
図面名称	縦断面図(汚水)(1)				
施工年度	R4	図面番号	5/10	欄尺	1:100 1:300

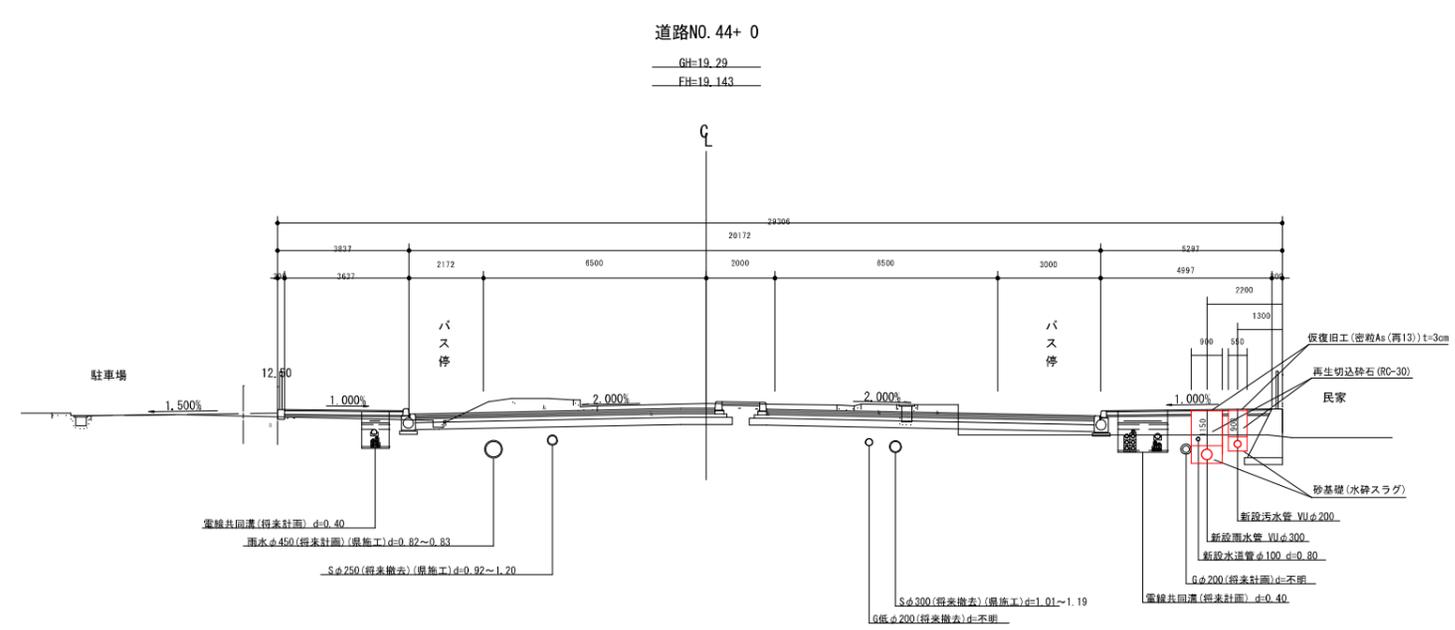
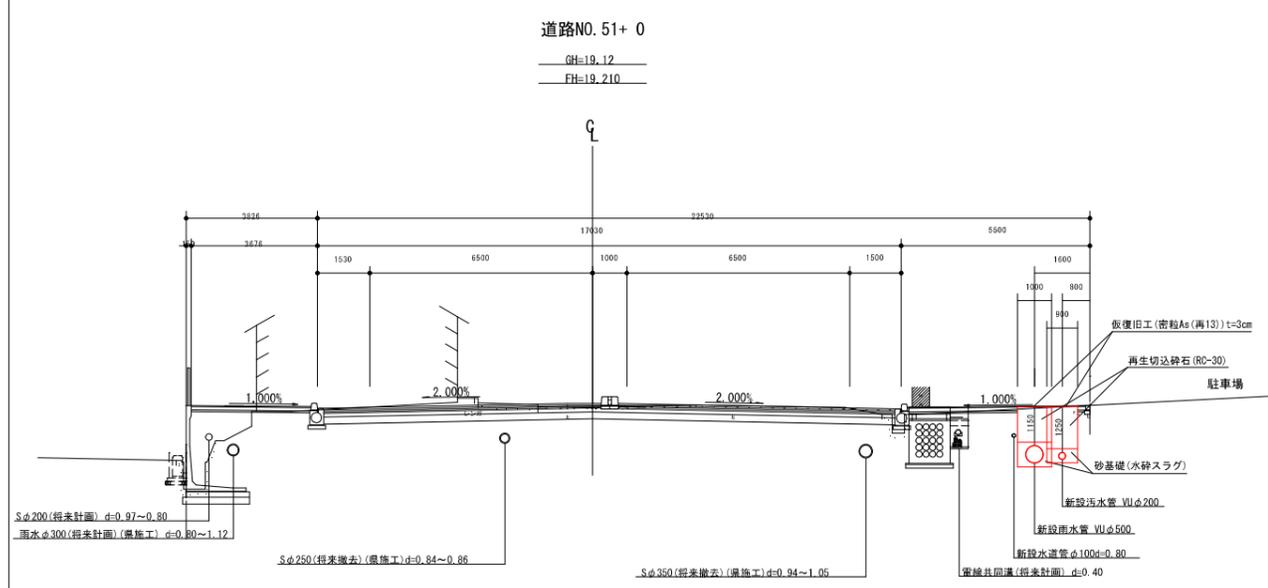
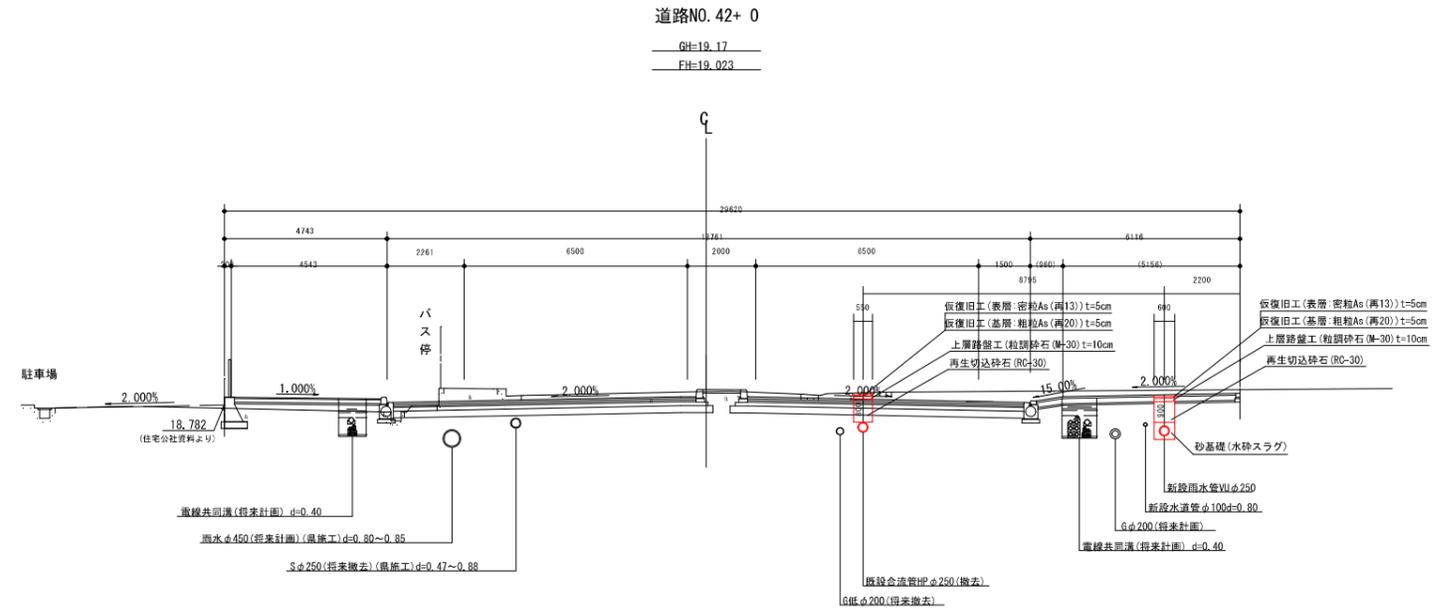
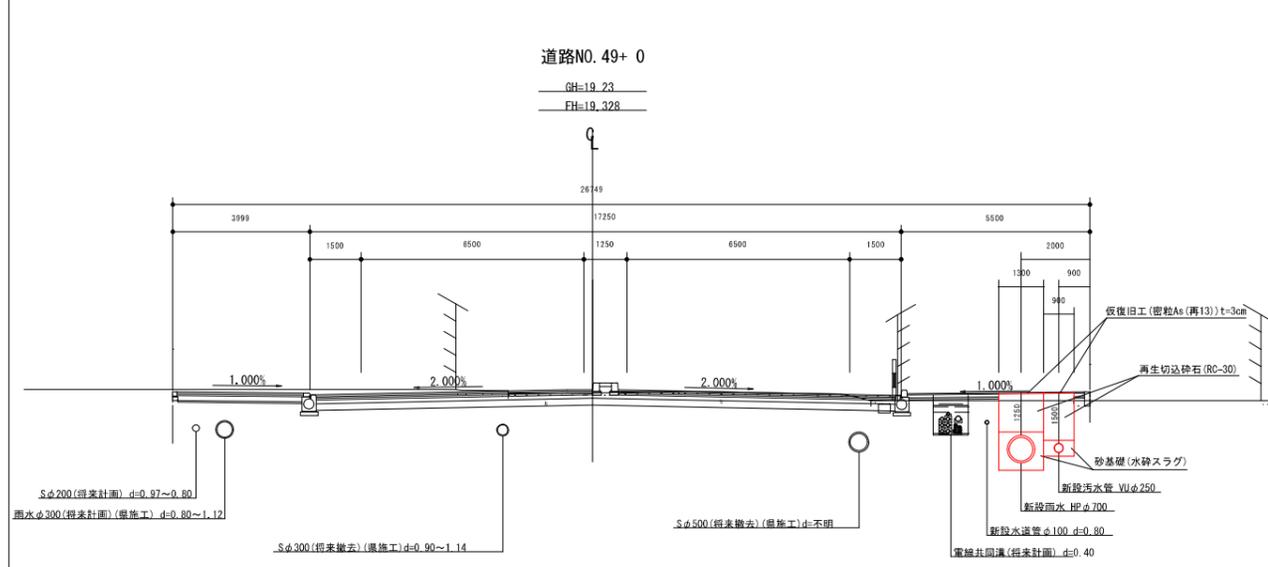
縦断面図(汚水) (2) S=1/100, 1/300



路線番号	汚水2014		
管径	VU φ200		
勾配	5.0‰	3.0‰	
土被り	1.37	1.33 1.02	0.95 0.83
掘削深	1.687	1.642 1.334	1.256 1.246
管底高	17.451	17.476 17.784	17.862 17.882
計画高	19.03	19.01	19.02
地盤高	19.03	19.01	19.02
追加距離	0.00	5.00	31.00
単距離	0.00	5.00	26.00
測点	合No. 1	汚No. 7	汚No. 8
			汚No. 9

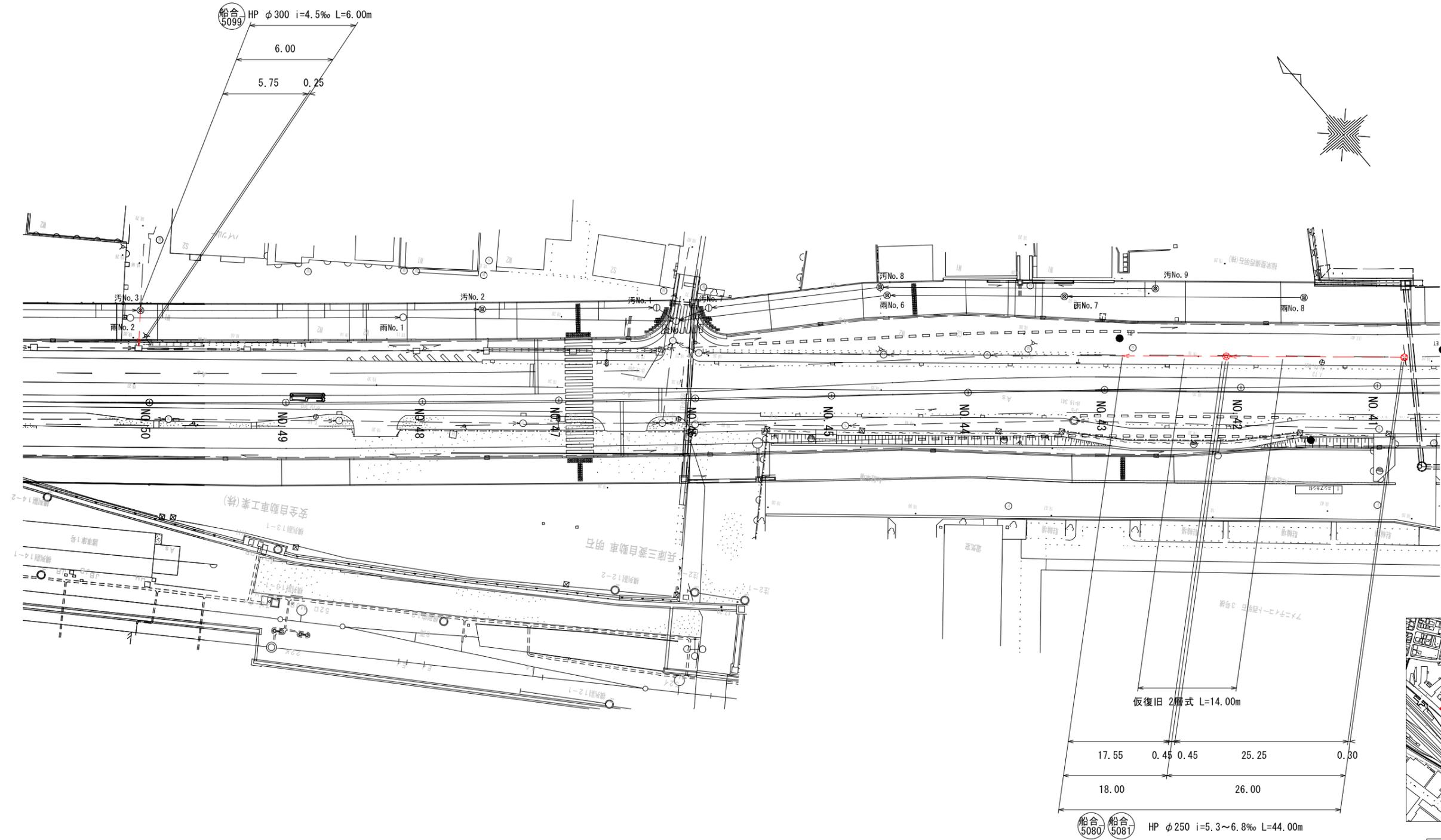
明石市公共下水道				
工事名	国道2号和坂広幅(3工区)管渠工事			
図面名称	縦断面図(汚水) (2)			
施工年度	R4	図面番号	6/10	縮尺
				1:100 1:300

横断図 S=1/100



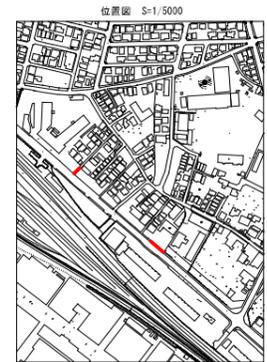
明石市公共下水道				
工事名	国道2号和歌坂幅(3工区)管渠工事			
図面名称	横断図			
施工年度	R4	図番	7/10	縮尺 1:100

撤去平面図 S=1/300



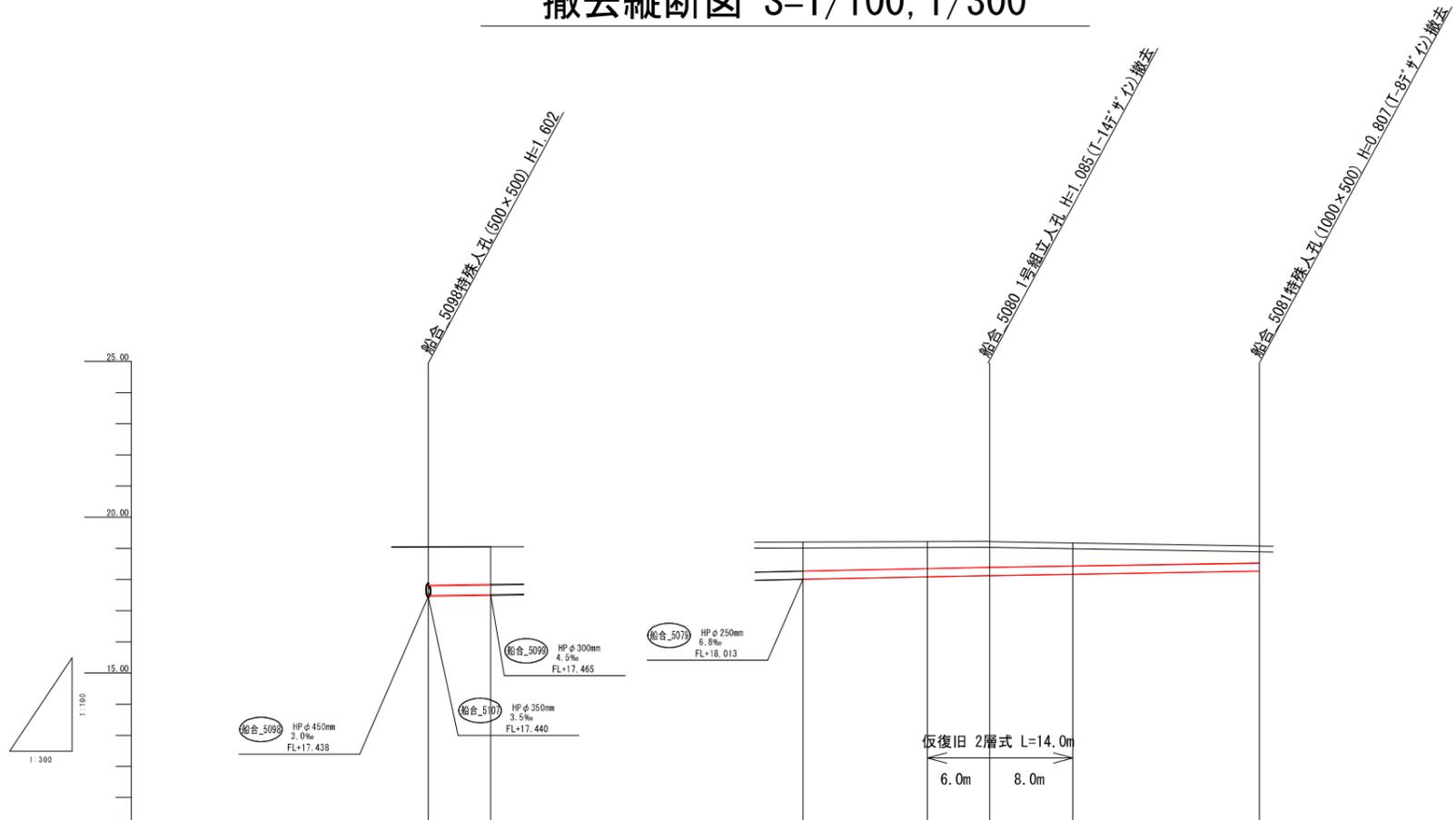
凡例

記号	種別
⊙	1号検出人孔 (内径φ1000)
⊘	2号検出人孔 (内径φ1000)
⊚	3号検出人孔 (内径φ1000)
⊛	臨時検出人孔 (内径φ800~900)
⊜	臨時検出人孔 (内径φ800)
⊝	1号雨水人孔 (内径φ1000)
⊞	2号雨水人孔 (内径φ1000)
⊟	3号雨水人孔 (内径φ1000)
⊠	特殊人孔
⊡	設置材人孔
—	水道
- - -	方丈
⋯	電線
⋯	電話
⋯	下水道管
⋯	下水検査口
⋯	下水敷設管
⋯	緑地



明石市公共下水道			
工事名	国道2号和坂幅(3工区)管業工事		
図面名称	撤去平面図		
施工年度	R4	図面番号	8/10
縮尺	1:300		

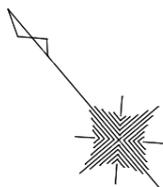
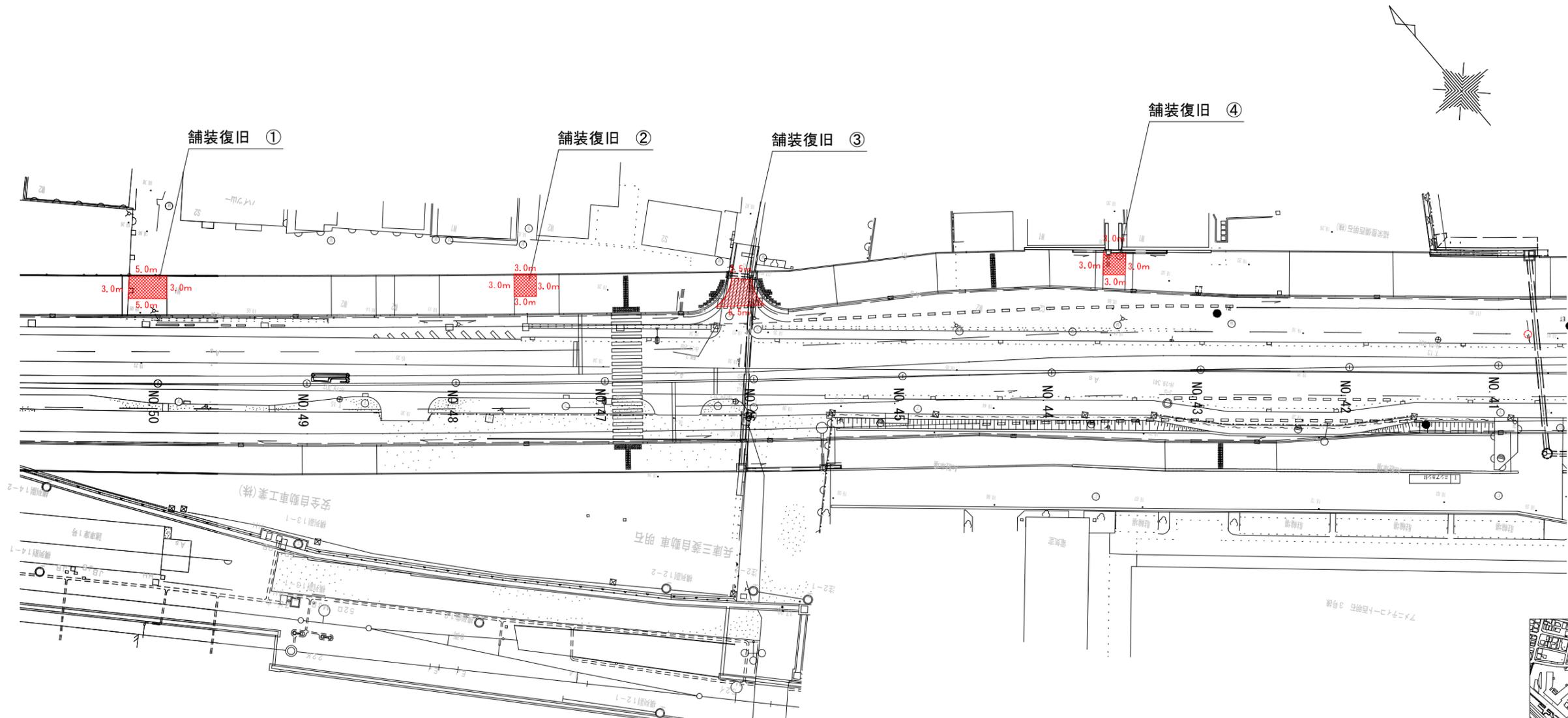
撤去縦断図 S=1/100, 1/300



路線番号	船合_5099		船合_5080		船合_5081	
管径	HP φ 300		HP φ 250			
勾配	4.5‰		6.8‰		5.3‰	
土被り	1.28	1.26	0.72	0.62	0.34	
掘削深	1.272	1.255	0.909	0.807	0.529	
管底高	17.438	17.465	18.013	18.135	18.273	
計画高	19.05	19.05	19.01	19.03	18.89	
地盤高	19.04	19.05	19.20	19.22	19.08	
追加距離	0.00	6.00	0.00	18.00	44.00	
単距離	0.00	6.00	0.00	18.00	26.00	
測点	船合_5099 +17.00	船合_5099 +17.00	船合_5079 +17.00	船合_5080	船合_5081	

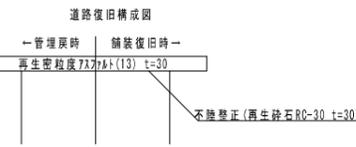
明石市公共下水道					
工事名	国道2号和坂広幅(3工区)管渠工事				
図面名称	撤去縦断図				
施工年度	R4	図面番号	9/10	縮尺	1:100 1:300

舗装復旧平面図 S=1/300



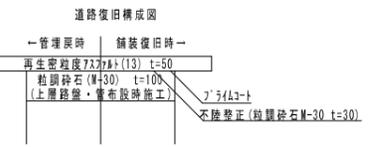
県道歩道
7x7x7針舗装As1層式

番号	面積(m ²)
①	15.0
②	9.0
④	9.0
合計	33.0

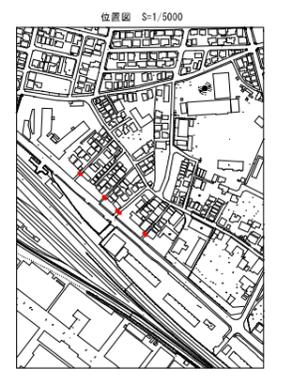


市道車道
7x7x7針舗装As1層式

番号	面積(m ²)
③	15.0
合計	15.0



舗装切替工
市道・車道(7x7x7針) t=3~5cm
L=3.0+3.0+5.0+5.0+3.0+3.0+3.0+3.0+6.5+2.5+3.0+3.0=46.0m



明石市公共下水道	
工事名	国道2号和坂幅(3工区)管渠工事
図面名称	舗装復旧平面図
施工年度	R4
図面番号	10/10
縮尺	1:300

令和 4年度 国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市和坂3丁目 地内

工 種

総括情報表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分	15 下水道 (2) 36 市街地(DID補正)(1)-3		

工事費内訳書

頁0-0002/0224

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路						
管きよ工 (管径700mm)		(80.0)	m			
管路土工						
管路掘削		1	式			工種 第0001号明細表
管路埋戻		1	式			工種 第0002号明細表
発生土処理		1	式			工種 第0003号明細表
管布設工						
鉄筋コンクリート管		1	式			工種 第0004号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管基礎工						
砂基礎						
	1		式			工種 第0005号明細表
管路土留工						
アルミ板土留						
	1		式			工種 第0006号明細表
土留支保工						
	1		式			工種 第0007号明細表
たて込み簡易土留						
	1		式			工種 第0008号明細表
鋼材賃料						
	1		式			工種 第0009号明細表
管きよ工 (管径500mm)						
	(25.0)		m			
管路土工						

工事費内訳書

頁0-0004/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路掘削	1		式			工種 第0010号明細表
管路埋戻	1		式			工種 第0011号明細表
発生土処理	1		式			工種 第0012号明細表
管布設工						
硬質塩化ビニル管	1		式			工種 第0013号明細表
管基礎工						
砂基礎	1		式			工種 第0014号明細表
管路土留工						
たて込み簡易土留	1		式			工種 第0015号明細表

工事費内訳書

頁0-0005/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
鋼材賃料										
	1			式						工種 第0016号明細表
マンホール工	(4)	箇所						
組立マンホール工										
組立1号マンホール										
	1			式						工種 第0017号明細表
組立2号マンホール 合流										
	1			式						工種 第0018号明細表
組立2号マンホール 雨水										
	1			式						工種 第0019号明細表
取付管およびます工	(9)	箇所						
管路土工										
管路掘削										
	1			式						工種 第0020号明細表

工事費内訳書

頁0-0006/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管路埋戻	1			式					工種	第0021号明細表
発生土処理	1			式					工種	第0022号明細表
取付管布設工										
取付管(塩ビ管)	1			式					工種	第0023号明細表
付帯工										
舗装仮復旧工										
仮復旧	1			式					工種	第0024号明細表
舗装撤去工										
舗装版切断	1			式					工種	第0025号明細表

工事費内訳書

頁0-0007/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装復旧工						
上層路盤						
仮設工	1		式			工種 第0026号明細表
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0027号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						

工事費内訳書

頁0-0008/0224

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税相当額			式			
合 計						

工事費内訳書

頁0-0009/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
附帯工事費(1)										
管路										
管きよ工 (管径300mm)	(55.0)	m						
管路土工										
管路掘削										
	1			式						工種 第0028号明細表
管路埋戻										
	1			式						工種 第0029号明細表
発生土処理										
	1			式						工種 第0030号明細表
管布設工										
硬質塩化ビニル管										
	1			式						工種 第0031号明細表

工事費内訳書

頁0-0010/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管基礎工						
砂基礎						
	1		式			工種 第0032号明細表
管路土留工						
アルミ板土留						
	1		式			工種 第0033号明細表
土留支保工						
	1		式			工種 第0034号明細表
たて込み簡易土留						
	1		式			工種 第0035号明細表
鋼材賃料						
	1		式			工種 第0036号明細表
管きよ工 (管径250mm)						
	(35.0)		m			
管路土工						

工事費内訳書

頁0-0013/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装仮復旧工						
仮復旧						
	1		式			工種 第0047号明細表
舗装撤去工						
舗装版切断						
	1		式			工種 第0048号明細表
舗装復旧工						
上層路盤						
	1		式			工種 第0049号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0050号明細表

工事費内訳書

頁0-0014/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税相当額			式			

工事費内訳書

頁0-0016/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(2)						
管路						
管きよ工 (管径250mm)	(83.0) m			
管路土工						
管路掘削						
	1		式			工種 第0051号明細表
管路埋戻						
	1		式			工種 第0052号明細表
発生土処理						
	1		式			工種 第0053号明細表
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
	1		式			工種 第0054号明細表

工事費内訳書

頁0-0017/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
埋設標識テープ	1			式					工種	第0055号明細表
管基礎工										
砂基礎	1			式					工種	第0056号明細表
管路土留工										
アルミ板土留	1			式					工種	第0057号明細表
土留支保工	1			式					工種	第0058号明細表
たて込み簡易土留	1			式					工種	第0059号明細表
鋼材賃料	1			式					工種	第0060号明細表
管きよ工 (管径200mm)	(96.0)	m						

工事費内訳書

頁0-0018/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管路土工										
管路掘削	1			式						工種 第0061号明細表
管路埋戻	1			式						工種 第0062号明細表
発生土処理	1			式						工種 第0063号明細表
管布設工										
硬質塩化ビニル管	1			式						工種 第0064号明細表
埋設標識テープ	1			式						工種 第0065号明細表
管基礎工										
砂基礎	1			式						工種 第0066号明細表

工事費内訳書

頁0-0019/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土留工						
アルミ板土留	1		式			工種 第0067号明細表
土留支保工	1		式			工種 第0068号明細表
たて込み簡易土留	1		式			工種 第0069号明細表
鋼材賃料	1		式			工種 第0070号明細表
マンホール工	(7)		個			
組立マンホール工						
組立1号マンホール	1		式			工種 第0071号明細表
小型マンホール工						

工事費内訳書

頁0-0021/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装仮復旧工										
仮復旧										
	1			式						工種 第0077号明細表
舗装撤去工										
舗装版切断										
	1			式						工種 第0078号明細表
舗装版破碎										
	1			式						工種 第0079号明細表
発生土処理										
	1			式						工種 第0080号明細表
舗装復旧工										
上層路盤										
	1			式						工種 第0081号明細表
不陸修正										
	1			式						工種 第0082号明細表

工事費内訳書

頁0-0022/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層						
	1		式			工種 第0083号明細表
既設構造物撤去工						
撤去掘削						
	1		式			工種 第0084号明細表
撤去埋戻						
	1		式			工種 第0085号明細表
発生土処理						
	1		式			工種 第0086号明細表
既設管撤去						
	1		式			工種 第0087号明細表
既設人孔撤去						
	1		式			工種 第0088号明細表
コンクリート塊運搬処理						
	1		式			工種 第0089号明細表
撤去付帯工						
	1		式			工種 第0090号明細表

工事費内訳書

頁0-0023/0224

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工										
交通管理工										
交通誘導警備員										
	1			式						工種 第0091号明細表
直接工事費計										
共通仮設費計										
運搬費										
				式						
仮設材運搬費										
	1			式						工種 第0092号明細表
準備費										
				式						
試掘調査工										
	1			式						工種 第0093号明細表

工事費内訳書

頁0-0024/0224

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費		式			
土質等試験費	1	式			工種 第0094号明細表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
工事価格					
消費税相当額		式			

工種明細表

	名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
	埋戻工 再生切込砕石	140	m3			施工 第0-0015号内訳表
	合 計	1	式			

土留支保工

工種明細表

工種 第0007号明細表

頁0-0032/0224

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工（設置+撤去） 切梁種別 水圧式ハブプレート	1.5	m			施工 第0-0022号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0029号内訳表
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ500mm用	1	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ150mm用	1	箇所			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	1	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
転落防止はしご	1	台			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	1	個			

組立2号マンホール

工種明細表

工種 第0018号明細表

頁0-0044/0224

合流

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 2号 マンホール深さ4m以下	1	箇所			施工 第0-0034号内訳表
流入管用削孔（HP管）φ700 2号人孔用 ユニホール	1	箇所			
流入管用削孔（HP管）φ600 2号人孔用 ユニホール	1	箇所			
流入管用削孔（塩ビ管）φ200 2号人孔用 ユニホール	1	箇所			
流入管用削孔（塩ビ管）φ250 2号人孔用 ユニホール	1	箇所			
流入管用削孔（塩ビ管）φ300 2号人孔用 ユニホール	1	箇所			
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
蓋取付ボルト 350mm（3ヶ1組） 調整ブロック250mm用 バイコン	1	セット			
調整リング 組立式(U型) 600×150mm	1	個			

組立2号マンホール

工種明細表

工種 第0018号明細表

頁0-0045/0224

合流

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
調整リング 組立式(U型) 600×100mm	1	個			
転落防止はしご φ600用	1	組			
2号斜壁 組立式(U型) 600×1200×450mm	1	個			
2号直壁 組立式(U型) 1200×1500mm	1	個			
2号底版 組立式(U型) 有効高さ150mm	1	個			
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0035号内訳表
防護コンクリート工 HP φ600	2	箇所			施工 第0-0036号内訳表
可とう継手 HP φ700 (拡張型) HP管用	1	個			
可とう継手 VU φ200 (拡張型) 塩ビ管用	1	個			

組立2号マニホール

工種明細表

工種 第0018号明細表

頁0-0046/0224

合流

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
可とう継手 VU φ 250 (拡張型) 塩ビ管用	1	個			
可とう継手 VU φ 300 (拡張型) 塩ビ管用	1	個			
合 計	1	式			

組立2号マンホール

工種明細表

工種 第0019号明細表

頁0-0047/0224

雨水

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 2号 マンホール深さ4m以下	2	箇所			施工 第0-0034号内訳表
流入管用削孔 (HP管) φ700 2号人孔用 バイコン	1	箇所			
削孔代 2号 組立式(V型) φ500mm用	1	箇所			
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組) 調整ブロック200mm用 バイコン	1	セット			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	1	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	2	個			

組立2号マンホール

工種明細表

工種 第0019号明細表

頁0-0048/0224

雨水

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
転落防止はしご φ600用	2	組			
2号斜壁 組立式(V型) 600×1200×600mm	1	個			
2号床版斜壁 組立式(V型) 600×1440×200	1	個			
2号底付 1200×1300mm	1	個			
2号底付 1200×1600mm	1	個			
底部工 [組立式]	2	箇所			施工 第0-0035号内訳表
可とう継手 HP φ700 (拡張型) HP管用	3	個			
可とう継手 VU φ500 (拡張型) 塩ビ管用	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員 A	16	人日			施工 第0-0051号内訳表
交通誘導警備員 B	34	人日			施工 第0-0052号内訳表
交通誘導警備員 A 交替要員	16	人日			施工 第0-0053号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

	名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
	砂基礎工（機械投入） 10m3以上・時間的制約なし・昼間	21	m3			施工 第0-0019号内訳表
	合計	1	式			

組立1号マンホール

工種明細表

工種 第0042号明細表

頁0-0072/0224

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	3	箇所			施工 第0-0029号内訳表
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ300mm用	1	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ250mm用	1	箇所			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	3	個			
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組) 調整ブロック200mm用 バイコン	2	セット			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	1	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×150mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	2	個			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
調整リング 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
転落防止はしご	3	台			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	2	個			
1号中床版ブロック 150×600×900mm	1	個			
1号底付 900×700mm	3	個			
底部工 [組立式]	3	箇所			施工 第0-0030号内訳表
可とう継手 VU φ300 (拡張型) 塩ビ管用	3	個			
可とう継手 VU φ250 (拡張型) 塩ビ管用	2	個			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員 A	8	人日			施工 第0-0051号内訳表
交通誘導警備員 B	17	人日			施工 第0-0052号内訳表
交通誘導警備員 A 交替要員	8	人日			施工 第0-0053号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

	名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
	埋戻工 再生切込砕石	107	m3			施工 第0-0015号内訳表
	合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
建込工 掘削深 2.5m以下	30.0	m			施工 第0-0023号内訳表
建込工 掘削深 2.0m以下	50.0	m			施工 第0-0027号内訳表
引抜工 掘削深 2.5m以下	30.0	m			施工 第0-0024号内訳表
引抜工 掘削深 2.0m以下	50.0	m			施工 第0-0028号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板賃料	0.9	t			
アルミ矢板整備費（基本料）	0.2	t			
アルミ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	3.0	m			
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.5m	56.7	m ²			
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m	48.0	m ²			
たて込み簡易土留材整備費 H=2.5m	56.7	m ²			
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m	48.0	m ²			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板賃料	0.8	t			
アルミ矢板整備費（基本料）	0.3	t			
アルミ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	25.0	m			
たて込み簡易土留材賃貸料金 H=2.0m	50.8	m ²			
たて込み簡易土留材整備費 H=2.0m	50.8	m ²			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	6	箇所			施工 第0-0029号内訳表
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ250mm用	2	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ300mm用	1	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ200mm用	3	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ150mm用	2	箇所			
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600	3	個			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	3	個			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	4	セット			
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組) 調整ブロック100mm用 バイコン	1	セット			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
蓋取付ボルト 350mm (3ヶ1組) 調整ブロック250mm用 バイコン	1	セット			
調整リグ 組立式(V型) 600×80mm	4	個			
調整リグ 組立式(V型) 600×50mm	6	個			
調整リグ 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
調整リグ 組立式(V型) 600×150mm	1	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	4	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×300mm	1	個			
1号中床版ブロック 150×600×900mm	1	個			
1号直壁 組立式(V型) 900×300mm	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底付 900×900mm	3	個			
1号底付 900×700mm	3	個			
底部工 [組立式]	6	箇所			施工 第0-0030号内訳表
可とう継手 VU φ 250 (拡張型) 塩ビ管用	5	個			
防護コンクリート工 HP φ 300	1	箇所			施工 第0-0064号内訳表
可とう継手 VU φ 200 (拡張型) 塩ビ管用	6	個			
可とう継手 VU φ 150 (拡張型) 塩ビ管用	2	個			
合計	1	式			

小型マンホール

工種明細表

工種 第0072号明細表

頁0-0105/0224

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール設置工 起点落差形式(KDR), 鋳鉄製防護蓋 設置なし	1	箇所			施工 第0-0065号内訳表
小型 底版 H=100 φ400用	1	個			
小型 歩道用樹脂蓋・枠 T-14 φ400	1	個			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員 A	23	人日			施工 第0-0051号内訳表
交通誘導警備員 B	48	人日			施工 第0-0052号内訳表
交通誘導警備員 A 交替要員	23	人日			施工 第0-0053号内訳表
合 計	1	式			

仮設材運搬費

工種明細表

工種 第0092号明細表

頁0-0125/0224

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	11.3	t			施工 第0-0081号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	11.3	t			施工 第0-0082号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	11.3	t			施工 第0-0082号内訳表
合 計	1	式			

残塊処分工 (アスファルト)

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0128/0224

直接

1 m3 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破碎	1	m3			施工 第0-0001号内訳表
処分費 アスファルト殻 (前田道路(株)神戸合材工場)	1	式			施工 第0-0002号内訳表
単 位 当 り	1	m3			

残塊処分工 (アスファルト)

代 価 表

代価 第0002号内訳表

頁0-0129/0224

小規模

1 m3 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破碎	1	m3			施工 第0-0003号内訳表
処分費 アスファルト殻 (前田道路(株)神戸合材工場)	1	式			施工 第0-0002号内訳表
単 位 当 り	1	m3			

殻運搬
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0134/0224
m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[ワンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[ワンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=3	機械(騒音対策不要、 有り	15cm以下)				
C	DID区間の有無	=2						
D	運搬距離	=37	19.5km以下					

殻運搬
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0136/0224
m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=31	15.0km以下					

積算単価算出表

土砂等運搬

[規格1] 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0139/0224

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[ワンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[ワンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=1	標準				
B	積込機種・規格	=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=20	9.0km以下				

積算単価算出表

土砂等運搬

[規格1] 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0140/0224

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=2	小規模				
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=16	7.0km以下				

殻運搬

[規格1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0142/0224

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オノロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オノロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む		1	
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械 有り					
C	DID区間の有無	=2						
D	運搬距離	=20	8.0km以下					

舗装版破碎(アスファルト舗装版)
[規格1]

[規格2] 撤去厚->15cm以下

積算単価算出表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0144/0224
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版					
B	障害等の有無	=1	無し					
C	騒音振動対策	=1	不要					
D	舗装版厚	=1	15cm以下					
F	積込作業の有無	=1	有り					

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0146/0224

埋戻工

[規格1]再生切込砕石

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンバ締固め	100.00	m3			施工 第0-0016号内訳表
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B 土留の種類 C バックホ規格		=6 =1 =6	再生切込砕石 たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊		

タンパ締固め
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0147/0224
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	タンパ	及びアンマ 質量60~80kg			タンパ (アンマ) 60~80kg			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1	ガソリン	レキユーラー スタート			レキユーラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価	=							

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0148/0224

鉄筋コンクリート管布設工

[規格1] B形 1種, 径 700mm

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ヒューム管 外圧管B形(1種) 径700mm×2.43m		本			
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
バックホ運転 (賃料)		日			
諸雑費		%			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 管種別 B 規格		=1 =9	B形 1種 径 700mm		

施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0155/0224

硬質塩化ビニル管布設工

[規格1]径 500mm

[規格2]管材料 計上する

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管(ゴム輪片受直管) 径500mm×厚14.6mm×4m		本			
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
バックホ運転 (賃料)		日			
諸雑費		%			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 管種別 B 規格 C 管材料計上区分		=2 =7 =1	下水道用硬質塩化ビニル管(ゴム輪形) 径 500mm 管材料 計上する		

積算単価算出表

コンクリート
[規格1] 無筋・鉄筋構造物

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0160/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =9		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

モルタル練
[規格1] 高炉 混合比→1:2

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0162/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R									
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入				高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	セメント種別		=3	高炉					
B	砂種類		=1	洗砂					
C	混合比		=2	1:2					

モルタル練
[規格1] 普通 混合比→1:2

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0166/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K										
R1		普通作業員				普通作業員				
R										
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入				普通ポルトランドセメント (袋物25kg入り)				
Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂				
Z										
						計				
積算単価 =										
A	セメント種別	=1	普通							
B	砂種類	=1	洗砂							
C	混合比	=2	1:2							

積算単価算出表

コンクリート
[規格1] 小型構造物

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0167/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-20BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =2		小型構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =26		18-8-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0168/0224
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->12.5cmを超え17.5cm以下

[規格2] 再生クラッシュ RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0169/0224

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシュ RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=3	12.5cmを超え17.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシュ RC-30, RC-40					

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積込0.13m3(平積0.10m3) [クロー型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クロー型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0171/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3		1	
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0173/0224
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2		タンバ及びびんま 質量60~80kg			タンバ及びびんま [びんま] 60~80kg			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)					
B	土質	=1	土砂					

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0047号内訳表

頁0-0176/0224
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]				振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2		振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K									
R1		特殊作業員				特殊作業員			
R2		普通作業員				普通作業員			
R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン TOP13			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン			
Z3		軽油 1.2号 バトル給油				軽油			
Z									
						計			
積算単価	=								
A	平均幅員	=1		1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)					
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50		1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	材料	=8		密粒度アスコン[再](13)					
D	夜間割増の有無	=1		無し					
E	瀝青材料種類	=5		無し					

表層(歩道部)
[規格1] t = 30mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0177/0224
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=30	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=6	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0178/0224
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッター 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッター [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッター(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		カソリン レギュラー スタント			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

上層路盤(車道・路肩部)
[規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0050号内訳表

頁0-0179/0224
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

施工単価表

施工 第0-0055号内訳表

頁0-0184/0224

アルミ板建込引抜工（両側分）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A 作業種別 B 掘削深 C バックホ規格		=3 =2 =4	建込+引抜 掘削深 2.0m以下 バックホ 山積0.45m3	クレーン機能付 2.9t吊	

床掘り
[規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0057号内訳表

頁0-0186/0224
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クロー型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含					バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クロー後方超小旋回 山積0.45m3級				
K										
R1	運転手(特殊)					運転手(特殊)				
R										
Z1	軽油 1.2号 バトル給油					軽油				
Z										
						計				
積算単価 =										
A	土質	=1		土砂						
B	施工方法	=2		平均施工幅1m以上2m未満						
C	土留方式の種類	=1		無し						
D	障害の有無	=1		無し						

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0188/0224
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m ³				
K2		タンク及びビン 質量60~80kg			タンク(ビン) 60~80kg				
K									
R1		普通作業員			普通作業員				
R2		特殊作業員			特殊作業員				
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)				
R									
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油				
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン				
Z									
					計				
積算単価 =									
A	施工方法	=4		最大埋戻幅1m未満					

基層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0190/0224

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ロー(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ロー(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンバクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンバクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生粗粒度アスコン TOP20			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3	軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1		1.4m未満(1層平均厚50mm以下)			
B	1層当り平均仕上り厚	=50		1層当り平均仕上り厚			
C	材料	=2		粗粒度アスコン[再](20)			
D	夜間割増の有無	=1		無し			
E	瀝青材料種類	=5		無し			

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm : 7.2+8.4=15.6

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0066号内訳表

頁0-0195/0224

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2		振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3		軽油 1.2号 バトール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均幅員	=1		1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8		密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1		無し				
E	瀝青材料種類	=5		無し				

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm : 135.8+21.6=157.4

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0067号内訳表

頁0-0196/0224

[摘要]

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2		振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生密粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3		軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均幅員	=1		1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=30		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=6		密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1		無し				
E	瀝青材料種類	=5		無し				

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 : 7.2+8.4=15.6 [規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0068号内訳表

頁0-0197/0224
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0069号内訳表

頁0-0198/0224

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無	=2	有り				
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満				
C	補足材料	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40				

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0070号内訳表

頁0-0199/0224

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャー RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無	=2	有り				
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満				
C	補足材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 30mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0200/0224
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャー 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャー(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
K2	タイヤローラー 質量8～20t 排出ガス対策型含			タイヤローラー(排出ガス対策型含) 8～20t			
K3	ロートローラー 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロートローラー(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=4	3.0m超				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=30	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

表層(車道・路肩部)
 [規格1] t = 30mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0201/0224
 m2 当り

1

標準単価	代表機勞材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	D	夜間割増の有無	=1	無し					
	E	瀝青材料種類	=5	無し					

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0202/0224

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャー 舗装幅2.3～6.0m [ホイル型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャー(排出ガス対策型含) ホイル型 舗装幅2.3～6.0m			
K2	タイヤローラー 質量8～20t 排出ガス対策型含			タイヤローラー(排出ガス対策型含) 8～20t			
K3	ロートローラー 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロートローラー(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0203/0224

[摘要]

1
m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
A	平均幅員		=4	3.0m超					
B	1層当り平均仕上り厚(mm)		=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	材料		=8	密粒度アスコン[再](13)					
D	夜間割増の有無		=1	無し					
E	瀝青材料種類		=2	プライムコート PK-3					

舗装版破碎(アスファルト舗装版)
[規格1] 3.6+18.0+8.4=30.0

[規格2] 撤去厚->15cm以下

積算単価算出表

施工 第0-0073号内訳表

頁0-0204/0224
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版					
B	障害等の有無	=1	無し					
C	騒音振動対策	=1	不要					
D	舗装版厚	=1	15cm以下					
F	積込作業の有無	=1	有り					

床掘り

[規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満:4.4+18.3 [規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0074号内訳表

頁0-0205/0224

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クロー型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クロー後方超小旋回 山積0.45m3級			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=2	平均施工幅1m以上2m未満					
C	土留方式の種類	=1	無し					
D	障害の有無	=1	無し					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) [標準型・クレーン付排ガス(第1次)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排ガス対策型(第1次)] 0.45/0.35m ³			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=2	撤去					
B	製品質量	=1	2000kg/基以下					

施工単価表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0214/0224

試掘調査工

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6	m			施工 第0-0049号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	2	m ²			施工 第0-0041号内訳表
床掘り 土砂 現場制約あり	2.9	m ³			施工 第0-0084号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→再生切込碎石	1.4	m ³			施工 第0-0043号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→砂	1.3	m ³			施工 第0-0085号内訳表
殻運搬 舗装版破碎	0.1	m ³			施工 第0-0003号内訳表
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0086号内訳表 (前田道路(株)神戸合材工場)
土砂等運搬 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)	2.9	m ³			施工 第0-0008号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0087号内訳表 (株)明神リサイクルセンター(明石)
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	2.0	m ²			施工 第0-0050号内訳表
仮復旧工 t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	2.0	m ²			施工 第0-0088号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

床掘り
[規格1] 土砂 現場制約あり

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0084号内訳表

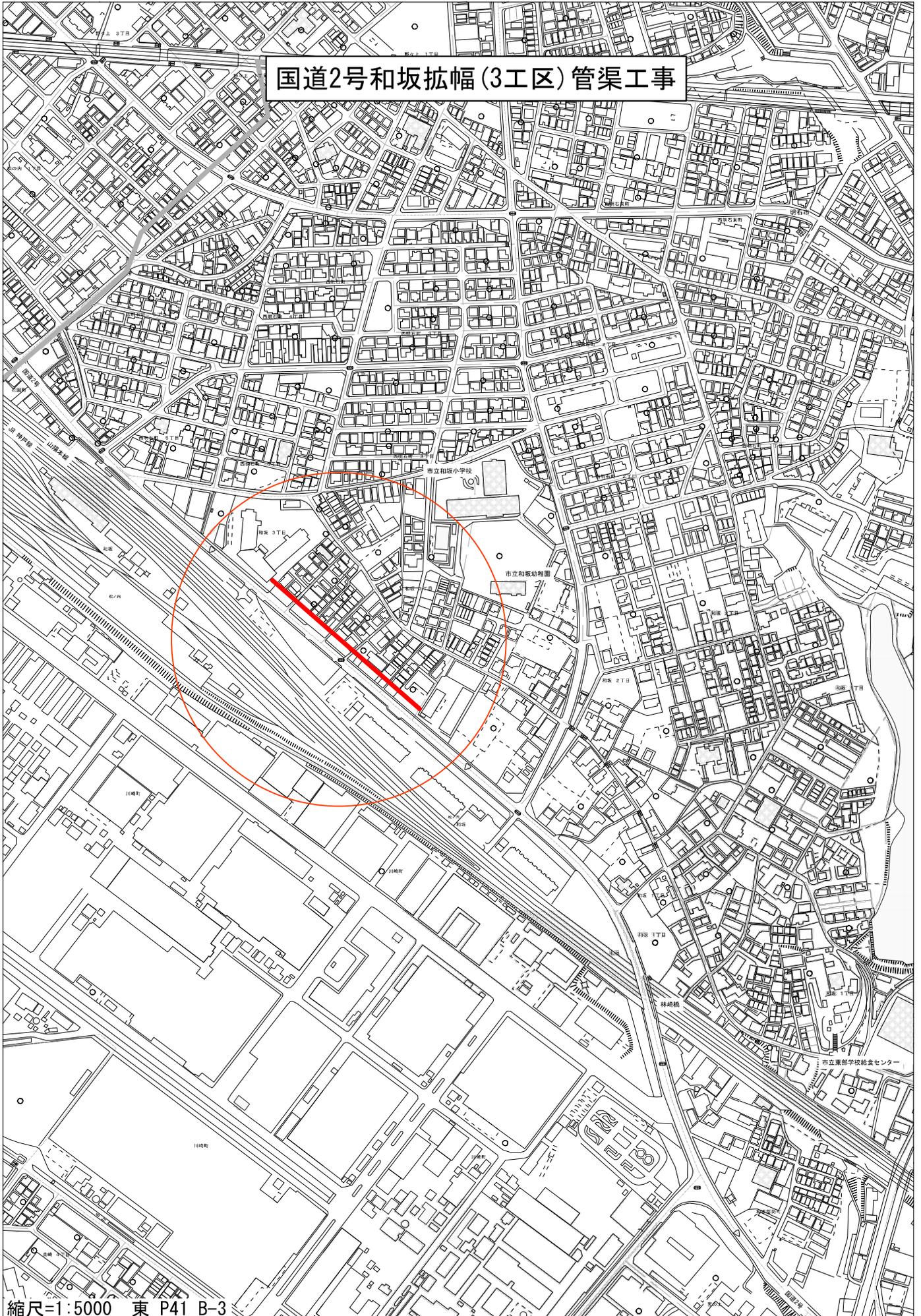
頁0-0215/0224
m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価	=							
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=6	現場制約あり					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンバクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンバクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

国道2号和坂拡幅(3工区)管渠工事



工 事 設 計 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	04-1203							設 計 年 月 日	令和5年 1月19日
着 工 番 号			精 算 年 月 日	令和5年 1月19日					
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市和坂3丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単 価 契 約 令和5年9月29日まで	
工 事 名 称	和坂3丁目ほか地内配水管布設工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=336.0m								
	配水管布設工 φ100 L=336.0m								
	仕切弁設置工 φ100 4箇所								
	消火栓設置工 φ100 2箇所								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

契約数量表

頁0-0001/0004

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路(開削)						
φ100管路						
φ100管布設工			式		1	
材料			式		1	
DGX-S 直管 φ100×4000		ゴム輪・ロックリング [※] (ホルダー [※] 含)	本		82	
DGX 受挿し片落管 φ150×100		ロックリング含	個		1	
DGX 曲管 φ100×45°		ロックリング含	個		1	
DGX 曲管 φ100×22° 1/2		ロックリング含	個		1	
DGX 曲管 φ100×11° 1/4		ロックリング含	個		11	
DGX 曲管 φ100×5° 5/8		ロックリング含	個		1	
DGX フランジ付きT字管 φ100×75		ロックリング含	個		2	
GX形ソケット仕切弁(受挿し) φ100		ロックリング含	基		3	
GX形ソケット仕切弁(両受) φ100		ロックリング含	基		1	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640)		鉄蓋含む	組		4	
ケルップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65		JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa	基		2	
フランジ短管 φ75×200		0.75MPa	個		2	
補修弁(キャップ式) φ75×100		JWWA B 126, 0.75MPa	基		2	

契約数量表

頁0-0002/0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
フランジ 接合補強具 (LSP形) φ 75	7.5K LSPパッキン	組		6	
消火栓ボックス (円形3号) (H=640)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		2	
GX形接合セット φ 100	異形管・V用	組		21	
GX形ラ付 φ 100	ライボート含	組		14	
DGX 栓 (直管用) φ 100		個		1	
GX形G-Linkセット φ 150	切管異形管受用	組		1	
表示帯		m		336	
ホリシリンダスリーブ φ 100	固定材料含む	m		336	
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		24	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径 100mm	m		334.4	
鋳鉄製仕切弁 (機械力) 設置	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		4	
円形1号ボックス設置工 (H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		4	
消火栓 (地下式 単口) 設置工	機械施工 フランジ 接合1口含む	箇所		2	
フランジ継手 接合 (呼び径 75 (80)mm)	J WWA 7.5K	口		4	
円形3号ボックス設置工 (H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		2	
G X継手接合 (呼び径 100mm)	直管	口		82	
G X継手接合 (呼び径 150mm)	異形管	口		1	

契約数量表

頁0-0003/0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
G X継手接合(呼び径 100mm)	異形管	口		21	
栓接合(呼び径 100mm)	直管	口		1	
メカニカル継手 取外し(呼び径 150mm)	継手：K形 特殊押輪補正あり	口		1	
管明示シート工		m		336	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 100mm)		m		336	
管明示テープ工	φ100	m		336	
φ100管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		670	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m ²		202	
掘削積込工		m ³		200	
残塊処分工(アスファルト)	〔前田道路㈱〕	m ³		8	
残塊処分工(土砂)	〔㈱明神リサイクルセンター〕	m ³		200	
アスファルト舗装工(人力)	密粒度アスコン[再](13) t=30mm	m ²		179	
アスファルト舗装工(人力)	密粒度アスコン[再](13) t=50mm	m ²		22	
アスファルト舗装工(人力)	粗粒度アスコン[再](20) t=50mm	m ²		22	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m ²		22	
路盤工(再生切込碎石)	下層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m ²		202	

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																									
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本工事は、下水道整備課発注工事との合併工事である。 施工前に工程を充分検討し、工事が円滑に進むよう調整すること。</p> <p>※ 3 近接工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、 関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">① 国道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; padding-right: 10px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">③ 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; padding-right: 10px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">5 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; padding-right: 10px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">7 その他()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; padding-right: 10px;"></td> </tr> </table> <p style="padding-left: 40px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-right: 10px;">1 鉄道等()</td></tr> <tr><td style="padding-right: 10px;">2 バス道等()</td></tr> <tr><td style="padding-right: 10px;">3 学校関係()</td></tr> <tr><td style="padding-right: 10px;">4 その他()</td></tr> </table> <p style="padding-left: 40px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 20%;">合計</th> <th style="width: 60%;">布設工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>26名</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>38名</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64名</td> <td>64名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="padding-left: 40px;">※ 1日1現場当り4名(標準)</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 1日1現場当り交差点部 6名 その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。</p> <p style="padding-left: 40px;">なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 60px;">交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に</p>	① 国道()	2 県道()	③ 市道()	4 法定外道路()	5 港湾()	6 河川()	7 その他()		1 鉄道等()	2 バス道等()	3 学校関係()	4 その他()	種類	合計	布設工事	A	26名	26名	B	38名	38名	合計	64名	64名
① 国道()	2 県道()																								
③ 市道()	4 法定外道路()																								
5 港湾()	6 河川()																								
7 その他()																									
1 鉄道等()																									
2 バス道等()																									
3 学校関係()																									
4 その他()																									
種類	合計	布設工事																							
A	26名	26名																							
B	38名	38名																							
合計	64名	64名																							

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員 交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に 従事するもの</p> <p>8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p>1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を 直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について</p> <p>※ 1 受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。</p> <p>※ 2 上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。</p> <p>※ 3 上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示 に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。</p> <p>※ 4 受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 (放水用器具1セット:消火栓スタンド,バルブキー2本,放水用ホース)</p> <p>※ 10 工事日報について</p> <p>※ 1 工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を<u>2週間以内</u>にセンター監督員に提出 すること。</p> <p>※ 2 工事日報は以下の工種について提出するものとする。</p> <p>① 試掘工 ② 仮配水管, 仮給水管布設撤去工 ③ 水道本管布設撤去工(残置処理配管共) ④ 給水管布設工 ⑤ 水圧試験 ⑥ 白紙様式3枚(検査合格報告書分)</p> <p>なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。</p> <p>※ 3 その他内容については、水道工事標準仕様書(6.提出書類)に基づくものとする。</p> <p>※ 11 <u>工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について</u></p> <p>※ 1 <u>本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者 に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては(保険金額→ 対物500万円以上・保険期間→工期内)とすること。なお、上記保険については掛金相当額 が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条(火災保険等)に基づき、保険契約を締結したのち、 その証券等を発注者に提示すること。</u></p> <p>※ 12 建設リサイクル法等に基づく手続きについて</p> <p>※ 1 受注者は、再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)を 提出するものとする。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を 工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の 様式を使用すること。</p> <p>※ 13 その他事項</p> <p>※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び 工事設計書のことをいう。</p> <p>※ 2 工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年9月29日 までとしている。 また、令和5年9月29日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。</p> <p>※ 3 当該工事設計書は令和4年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p>4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p>

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	

章	
2	<p>管きよ工</p> <p>※ 1 使用材料</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 2 一体化長さ</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p> <p>※ 3 管の据付</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。</p> <p>※ 4 消火栓・空気弁</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90° の位置に設置すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 5 水圧試験</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>※ 6 現場発生品の処分</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地はアライタルで運搬距離</p>

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>は kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p>2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p>※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発成品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離 km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>7 スクラップの種類</p> <p style="padding-left: 20px;">1 撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。</p> <p>8 その他事項</p> <p style="padding-left: 20px;">1 本工事における仮配水管の供用日数について、日までとして計上している。</p>

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
---	--

章																																																																																																																																				
3	<p>土工事</p> <p>1 重機</p> <p>1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p> <p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p> <p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75</td><td>φ 100</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>GX形</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>K形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75</td><td>φ 100</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>GX形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>K形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> </table> <p>※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ 350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ 400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p>※ 5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr><td>口径</td><td>φ 100以下</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 400</td></tr> <tr><td>幅</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>700</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>800</td></tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr><td>口径</td><td>φ 100以下</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 400</td></tr> <tr><td>幅</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p style="padding-left: 40px;">4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p>※ 6 既設管撤去の掘削幅</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75~150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>幅</td><td>550</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table>	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	550	600	650	700	900	950	1000
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																											
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																											
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																														
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																														
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																														
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																													
幅	550	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																													

特記仕様書
(令和4年度 和坂3丁目ほか地内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																	
	<p style="text-align: center;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">口径</th> <th style="width: 10%;">φ75~150</th> <th style="width: 10%;">φ200</th> <th style="width: 10%;">φ250</th> <th style="width: 10%;">φ300</th> <th style="width: 10%;">φ350</th> <th style="width: 10%;">φ400</th> <th style="width: 10%;">φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・殻処分地</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 20px;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450										
幅	850	850	850	850	950	1000	1050										

水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・契約数量表・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事実績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・試掘断面の地下埋設物の状況
- ・既設舗装構成
- ・設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水管用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4) 掘削断面に他企業埋設管（下水管、ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置、口径がわかるように図示すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

この仕様書は、2022年9月1日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ダクタイル鋳鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー 鋳造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クランプ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋳螺(株)
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ダクタイル鋳鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

φ 100配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管	(L= 4.0 m)		82	328.000		
名称・形質等			管長	当初		
				数量	延長	
					備考	
DGX-S	直管関係	φ 100		82	328.000	
DGX	受挿し片落管	φ 150 × φ 100	0.410	1	0.410	
DGX	曲管	φ 100 × 45°	0.416	1	0.416	
DGX	曲管	φ 100 × 22° 1/2	0.380	1	0.380	
DGX	曲管	φ 100 × 11° 1/4	0.360	11	3.960	
DGX	曲管	φ 100 × 5° 5/8	0.340	1	0.340	
DGX	フランジ付きT字管	φ 100 × φ 75	0.440	2	0.880	
GX形	ソフトシール仕切弁(受挿し)	φ 100	0.490	3	1.470	
GX形	ソフトシール仕切弁(両受)	φ 100	0.180	1	0.180	
	仕切弁室(明石V型)	H=640		4		
	ケレップ式消火栓(単口)	φ 75 × φ 65		2		
	フランジ短管	φ 75 × 200		2		
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100		2		
	フランジ接合補強具(LSP形)	φ 75		6		消火栓
	消火栓室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 歩道)	H=640		2		
GX形	接続部品	φ 100		21		
GX形	ライナ	φ 100		14		
DGX	栓(直管用)	φ 100		1		
	G-Linkセット	φ 150		1		
	表示帯			336.0		
	ポリエチレンスリーブ	φ 100		336.0		
	管明示テープ(区間距離 × 1.42 / 20 =)			24		
管材料延長計				336.036		

φ 100配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 100	334.4 m	区間距離-仕切弁延長計
仕切弁設置工 φ 100	4 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=640	4 箇所	
消火栓設置工	2箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手工 φ 75	4 口	消火栓箇所+割丁字箇所
消火栓ボックス設置工 H=640	2 箇所	
GX継手工(直管接合) φ 100	82 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 150	1 口	
GX継手工(異形管接合) φ 100	21 口	
栓設置工 φ 100	1 口	
メカニカル継手工(特殊押輪)撤去 φ 150	1 口	
管明示シート工	336.0 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 100	336.0 m	
管明示テープ工 φ 100	336.0 m	

φ 100配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2
延長 箇所等	336		299.0	37.0
会所掘 箇所	2		2	

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2
舗装版切断(As) t≤15cm	672.00	670	m	598.00	74.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	201.60	202	m2	179.40	22.20
掘削積込工	198.15	200	m3	177.73	20.42
残塊処分工(As)	7.60	8	m3	5.38	2.22
残塊処分工(土砂)	198.15	200	m3	177.73	20.42
仮復旧工(密粒度(再)(13))3cm	179.40	179	m2	179.40	
仮復旧工(密粒度(再)(13))5cm	22.20	22	m2		22.20
仮舗装(基層) t=5cm	22.20	22	m2		22.20
路盤工(粒調碎石) t=10cm	22.20	22	m2		22.20
路盤工(再生碎石) t=10cm	201.60	202	m2	179.40	22.20
埋戻工(再生碎石)	90.98	91	m3	84.32	6.66
埋戻工(スクリーニングス)	81.10	81	m3	72.18	8.92

φ100配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As3cm	再生碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
299.0	0.60	0.80	0.03	2	1.02	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			299.0 ×	2	598.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.03	0.60		× 299.0		179.40
掘削積込工 (管断面控除)	0.99	0.60 × + 0.60 ×	0.99 × 0.20 ×	299.0 0.50 ×	2	177.73
残塊処分工(As)				179.40 ×	0.03	5.38
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		177.73
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.03	0.60		× 299.0		179.40
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60		× 299.00		179.40
埋戻工(再生碎石)	0.47	0.60 ×	0.47 ×	299.0		84.32
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.42	0.60 × + 0.60 × - 0.011	0.42 × 0.20 × ×	299.0 0.50 × 299.0	2	72.18

φ100配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As10cm	As10cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ100	0.118	0.011

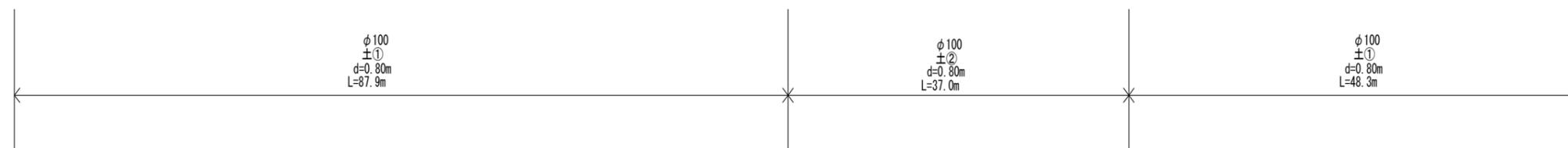
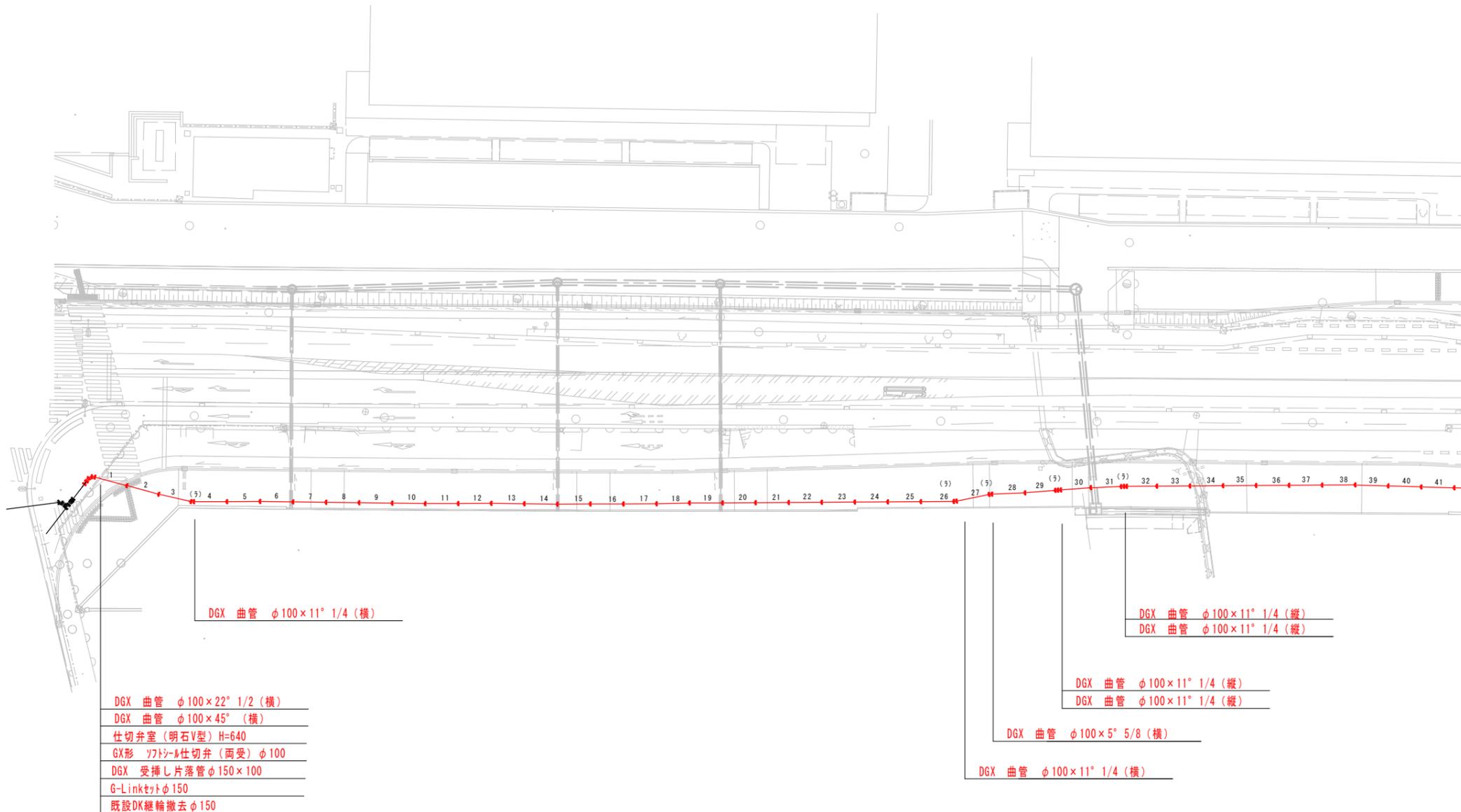
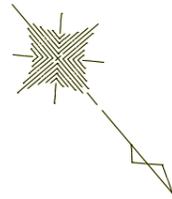
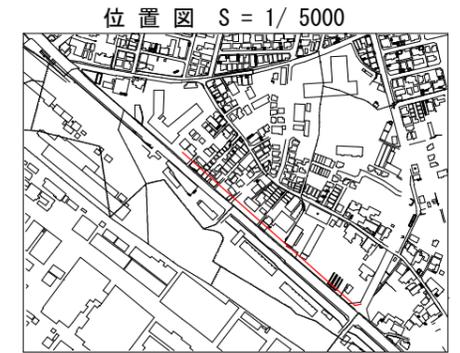
掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
37.0	0.60	0.80	0.10	0	1.02	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			37.0 × 2	74.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	0.60		× 37.0	22.20
掘削積込工 (管断面控除)	0.92	0.60 ×	0.92 ×	37.0	20.42
残塊処分工(As)				22.20 × 0.10	2.22
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			20.42
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 37.0	22.20
仮舗装(基層)	0.05	0.60		× 37.0	22.20
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		× 37.0	22.20
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60		× 37.00	22.20
埋戻工(再生碎石)	0.30	0.60 ×	0.30 ×	37.0	6.66
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.42	0.60 ×	0.42 ×	37.0	8.92
		— 0.011		× 37.0	

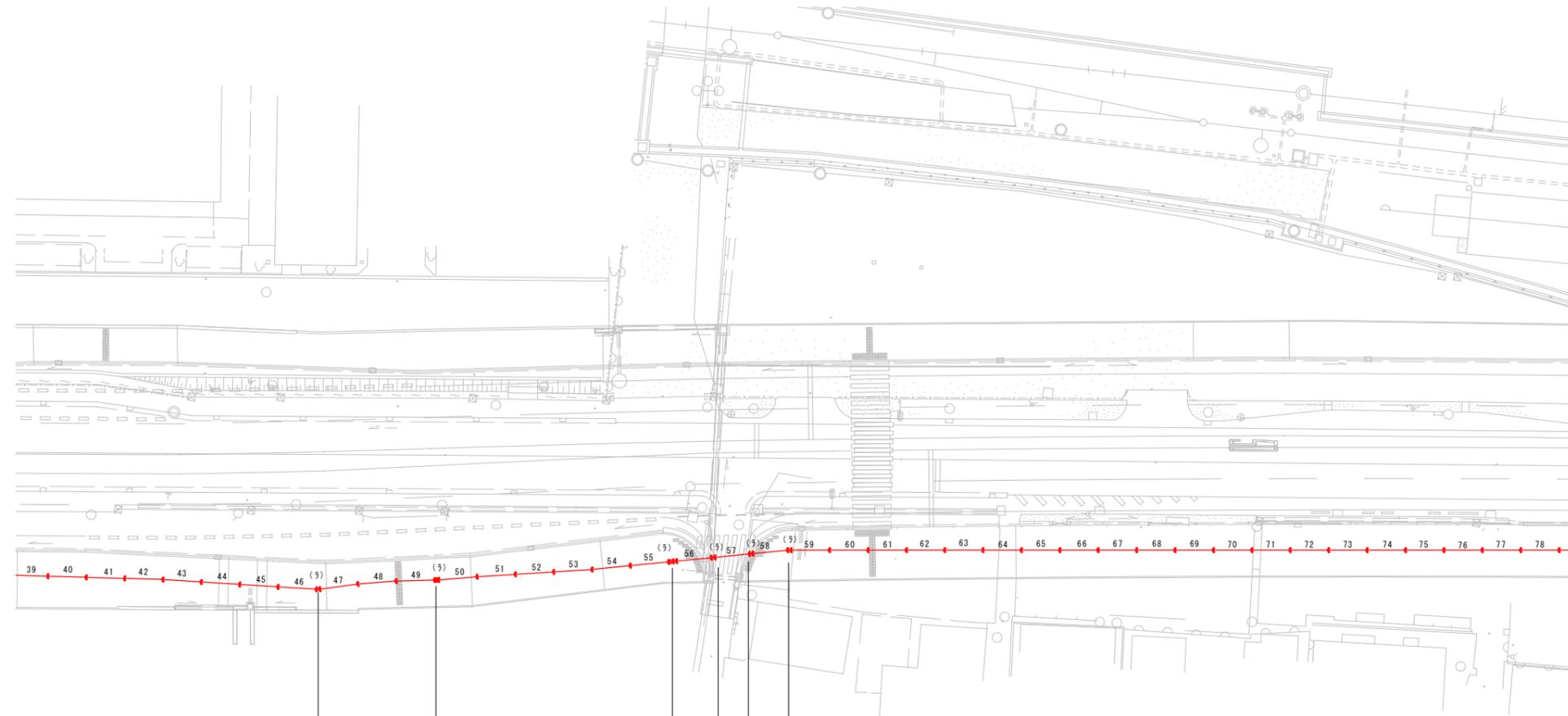
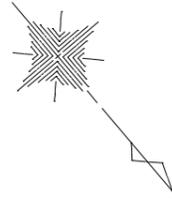
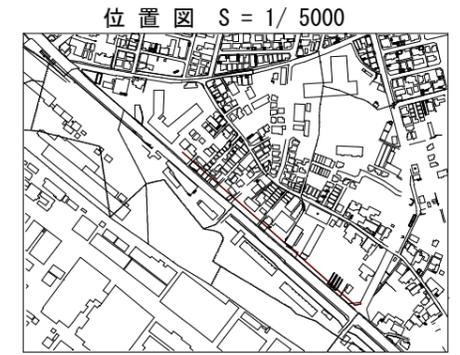
配水管布設平面図(その1) S=1/300

DCIP-GX-S φ100 L=336.0m



図番	1 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	和坂3丁目ほか地内配水管布設工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市和坂3丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

配水管布設平面図(その2) S=1/300



DGX 曲管 φ100×11° 1/4 (横)

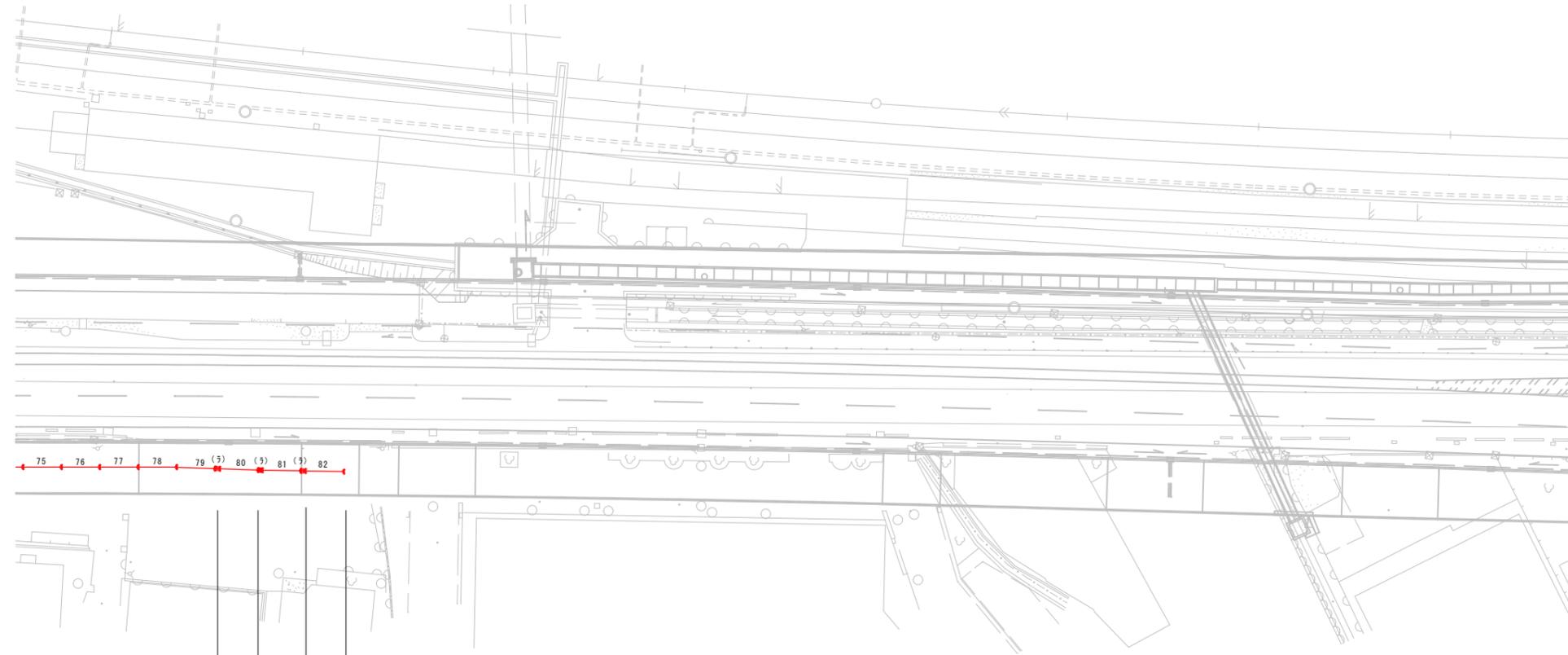
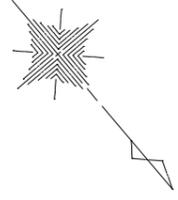
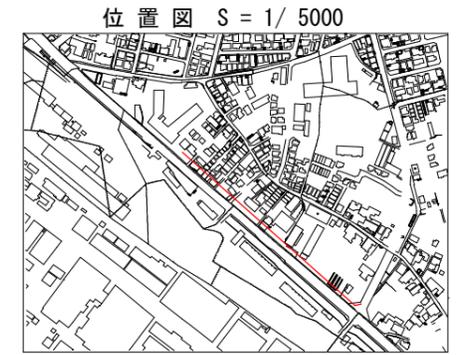
消火栓室 (明石Ⅳ型・丸型) (耐スリップ用 歩道) H=640
 ケレップ式単口消火栓 (浅埋用) φ75×65
 フランジ短管 φ75×200
 補修弁 (キャップ式) φ75×100
 DGX フランジ付きT字管 φ100×75

仕切弁室 (明石Ⅴ型) H=640
 GX形 ソフトール仕切弁 (受挿し) φ100
 DGX 曲管 φ100×11° 1/4 (横)

φ100
 ±①
 d=0.80m
 L=146.2m

図番	2 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	和坂3丁目ほか地内配水管布設工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市和坂3丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

配水管布設平面図(その3) S=1/300



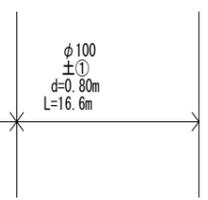
75 76 77 78 79 (5) 80 (5) 81 (5) 82

DGX 栓 (直管用) φ100

仕切弁室 (明石V型) H=640
GX形 ヲトシ-仕切弁 (受挿し) φ100

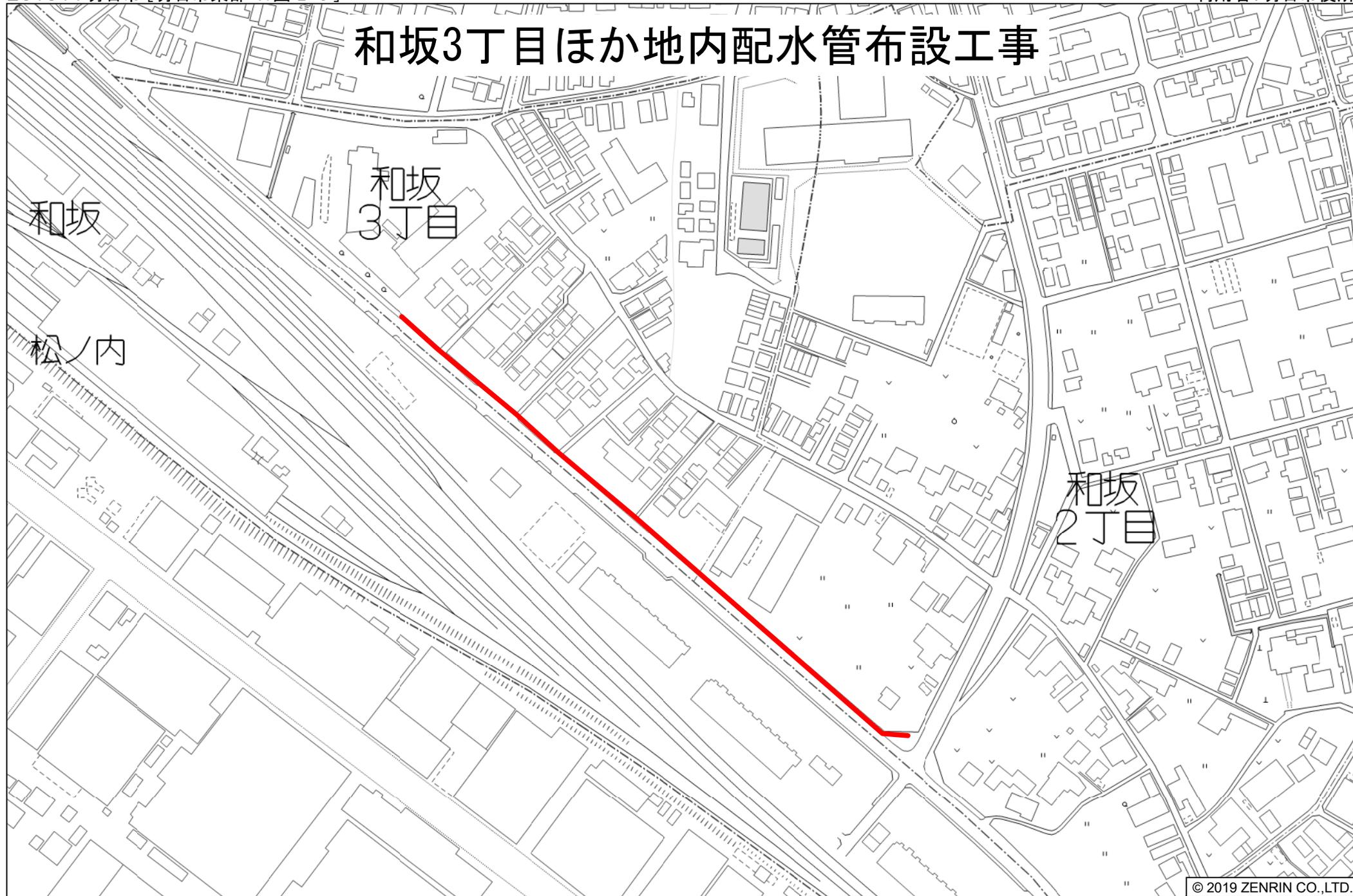
消火栓室 (明石IV型・丸型) (耐スリッパ用 歩道) H=640
ケルップ式単口消火栓 (浅埋用) φ75×65
フランジ短管 φ75×200
補修弁 (ケルップ式) φ75×100
DGX フランジ付きT字管 φ100×75

仕切弁室 (明石V型) H=640
GX形 ヲトシ-仕切弁 (受挿し) φ100



図番	3 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	和坂3丁目ほか地内配水管布設工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市和坂3丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

和坂3丁目ほか地内配水管布設工事



見 積 参 考 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	04-1203							設 計 年 月 日	令和5年 1月19日
着 工 番 号			精 算 年 月 日	令和5年 1月19日					
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市和坂3丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単 価 契 約 令和5年9月29日まで	
工 事 名 称	和坂3丁目ほか地内配水管布設工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=336.0m								
	配水管布設工 φ100 L=336.0m								
	仕切弁設置工 φ100 4箇所								
	消火栓設置工 φ100 2箇所								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0067

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路(開削)						
φ100管路						
φ100管布設工						
φ100管布設土工		1	式			工種 第0001号明細表
交通誘導員設置		1	式			工種 第0004号明細表
準備費		1	式			工種 第0006号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
準備費			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0067

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	試掘調査					
		1	式			工種 第0009号明細表
	技術管理費					
			式			
	通水試験費					
		1	式			工種 第0010号明細表
	共通仮設費率分					
			式			
	純工事費計					
	現場管理費					
			式			
	工事原価計					
	一般管理費等					
			式			
	工事価格計					

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ100×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	82	本			K 管材費
DGX 受挿し片落管 φ150×100 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ100×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ100×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ100×11° 1/4 ロックリング含 内面球形粉体塗装	11	個			K 管材費
DGX 曲管 φ100×5° 5/8 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX フランジ付きT字管 φ100×75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
GX形ソトソール仕切弁(受挿し) φ100 ロックリング含 内面球形樹脂粉体塗装	3	基			K 管材費
GX形ソトソール仕切弁(両受) φ100 ロックリング含 内面球形樹脂粉体塗装	1	基			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640) 鉄蓋含む	4	組			施工 第0-0022号内訳表
クランプ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	2	基			K 管材費
フランジ短管 φ75×200 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	2	個			K 管材費
補修弁(キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	2	基			K 管材費
フランジ接合補強具(LSP形) φ75 7.5K LSPパッキン ホルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	6	組			K 管材費
消火栓ボックス(円形3号)(H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	2	組			施工 第0-0023号内訳表
GX形接合セット φ100 異形管・V用	21	組			
GX形ライフ φ100 ライフボード含	14	組			K 管材費
DGX 栓(直管用) φ100 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形G-Linkネット φ150 切管異形管受用	1	組			
表示帯	336.0	m			
ホリエチレンスリーブ φ100 固定材料含む	336.0	m			施工 第0-0024号内訳表
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	24	巻			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0009/0067

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径 100mm	334.4	m			施工 第0-0025号内訳表
鋳鉄製仕切弁（機械力）設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	4	基			施工 第0-0027号内訳表
円形1号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	4	箇所			施工 第0-0028号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	2	箇所			施工 第0-0033号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	4	口			施工 第0-0034号内訳表
円形3号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	2	箇所			施工 第0-0035号内訳表
G X継手接合(呼び径 100mm) 直管	82	口			施工 第0-0040号内訳表
G X継手接合(呼び径 150mm) 異形管	1	口			施工 第0-0041号内訳表
G X継手接合(呼び径 100mm) 異形管	21	口			施工 第0-0042号内訳表

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0010/0067

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
栓接合(呼び径 100mm) 直管	1	口			施工 第0-0043号内訳表
メカニカル継手 取外し(呼び径 150mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			施工 第0-0044号内訳表
管明示シート工	336.0	m			施工 第0-0045号内訳表
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 100mm)	336.0	m			施工 第0-0046号内訳表
管明示テープ工 φ100	336.0	m			施工 第0-0047号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	670	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	202	m ²			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	200	m ³			施工 第0-0048号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔前田道路株〕 運搬距離 L=14.5km	8	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.5km	200	m ³			施工 第0-0019号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=30mm	179	m ²			施工 第0-0049号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm	22	m ²			施工 第0-0052号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 粗粒度アスコン[再](20) t=50mm	22	m ²			施工 第0-0053号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	22	m ²			施工 第0-0010号内訳表

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工 第0-0005号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			施工 第0-0006号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	1.6	m3			施工 第0-0009号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工 第0-0010号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0012号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔前田道路株〕 運搬距離 L=14.5km	0.1	m3			施工 第0-0015号内訳表

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0021/0067

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0023/0067

掘削積込工(補助的作業なし)

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
バックホ運転		時間			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			

掘削(人力)
[規格 1] 土砂

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0024/0067
m3 当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R									
Z									
						計			
積算単価 =									
A	土質	=1	土砂						
B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0028/0067

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			1
振動コンパクタ運転		日			1
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0033/0067

運搬

[規格1]処理対象->土砂

[規格2]

[摘要]

10

m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合 計	10	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A ダンプトラック規格		=2			
B 積込機械・規格		=3			
C 土質区分		=1			
D 運搬距離(km)		=6.5			
E DID区間		=2			
F 路面状態		=1			

ダンプトラック4t積
バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3)
土砂
運搬距離(km)
DID有
路面：良好

施工単価表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0037/0067

ポリエチレンスリーブ φ100

[規格1] 固定材料含む

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレンスリーブ φ100 粉体塗装管用	150	m			
管明示テープ (幅50mm) 年号入り エコマーク認定製品 エコマーク認定品	51.0	m			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0058/0067

ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 100mm)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A 呼び径		=2	呼び径 100mm		

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0061/0067

アスファルト舗装工（人力）

[規格1] 密粒度アスコン[再](13) t=3.0mm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再](13)		
B 仕上り厚(mm)		=30	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=3	瀝青材なし		
E 歩車道区分		=2	歩道		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0062/0067

アスファルト舗装工（人力）

[規格1] 密粒度アスコン[再](13) t=5.0mm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再](13)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=3	瀝青材なし		
E 歩車道区分		=2	歩道		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0063/0067

アスファルト舗装工（人力）

[規格1]粗粒度アスコン[再](20) t=5.0mm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			12
特殊作業員		人			12
普通作業員		人			12
再生粗粒度アスコン TOP20		t			
振動ローリ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=4	粗粒度アスコン[再](20)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=3	瀝青材なし		
E 歩車道区分		=2	歩道		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

